

医療連携センター年報

第13号

2019年

岐阜大学医学部附属病院

岐阜大学医学部附属病院

医療連携センター運営方針

かかりつけ医と専門医の継ぎ目の無い最適な医療を実現する。

医療チームが協働して、患者が意思決定支援を通して適切な療養場所へ移行できるよう支援する。

目 次

注意：ホームページでは公開していないページもありますのでご了承ください。

第1章 医療連携センターの概要

- 1) 医療連携センターの組織・機能図
- 2) 医療連携センター職員の役割
- 3) アライアンスパートナーズ／医療機能連携協定締結医療機関一覧
- 4) 病診連携登録機関一覧
- 5) みなもネット利用状況

第2章 業務報告（各種統計）

- 1) 相談窓口業務
- 2) 前方支援業務
- 3) 診療報酬算定実績（件数）・地域連携パス登録件数
- 4) 後方支援詳細
- 5) 参考資料

第3章 会議報告

- 1) 医療連携センター運営委員会
- 2) 岐阜大学医学部附属病院地域医療連携等情報交換会
- 3) 国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会参加
日本医療連携研究会 - 国立大学部門 - 学術集会

第4章 教育活動報告

- 1) 院外活動：医療従事者対象『岐阜地域医療連携講演会』
- 2) 院内活動：病院職員対象『医療連携センター研修』
- 3) 院外活動：一般（患者，家族）対象『医療連携週間』

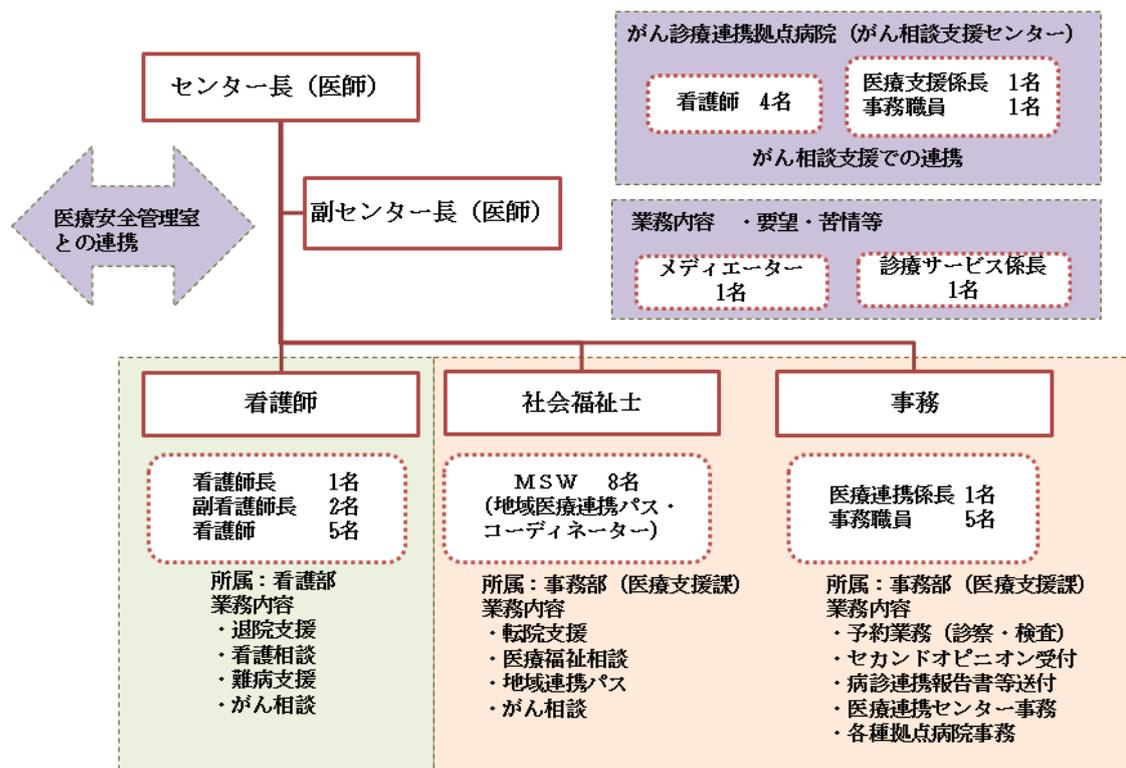
第5章 広報活動報告

- 1) 院内広報：病院職員対象『医療連携センターニュース』
- 2) 院外広報：医療機関対象『診療のご案内』
- 3) 院外広報：連携医療機関対象『医療連携 NEWS』
- 4) 院内掲示物
 - ・相談窓口案内（相談対応者案内）
 - ・かかりつけ医との併診推奨案内入院患者配付物
 - ・入院患者への相談窓口案内
 - ・相談窓口案内（相談対応者案内）担当者名

第1章 医療連携センターの概要

1) 医療連携センターの組織・機能図

医療連携センター組織図 2019年度



役割

医療連携センターでは地域医療連携体制の窓口として、地域の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者、地域医療機関が密接な連携を図り、患者が満足できる適正で質の高い医療を提供するための役割を担う。

- ① 医療相談及び医療福祉相談等に関すること。
- ② 地域医療機関との連携に関すること。
- ③ 先端医療に係る情報の収集及び提供に関すること。
- ④ 地域医療機関等に対する専門的医療の支援に関すること。
- ⑤ 社会資源の活用に関すること。
- ⑥ その他医療連携に関すること。

医療連携センター機能図

- ①医療の機能分担明確化と病診連携による効率的な医療を提供する体制の充実
- ②効率的な退院ケアのできる体制の整備
- ③患者・家族の抱える様々な問題に対する支援のための相談窓口
- ④難病医療拠点病院連携協議会の事務局
- ⑤当院と地域医療ネットワークをリンクさせる窓口の統合と管理システム

岐阜県 各種拠点病院事業

がん診療連携拠点病院
難病連携拠点病院
エイズ拠点病院
肝疾患診療連携拠点病院 など

がんセンター

緩和ケアセンター

がん相談支援センター
がん患者サロン

がん相談員

医療連携センター

センター長

副センター長

看護師

看護相談

退院支援

医療連携センター
運営委員会

ソーシャルワーカー
(パスコーディネーター)

精神保健・

医療福祉相談

転院支援

地域連携パス

事務職員

医療連携・拠点病院関連事務

病診連携（診察・検査・PET-CT）

セカンドオピニオン・肝疾患・女性相談受付

要望・苦情等受付窓口

岐阜県難病医療連絡
協議会事務局

難病医療専門員

難病相談

連携

連携

医療安全管理室

中央診療施設

- ・術前管理センター
- ・入院センター
- ・バッドコントロールセンター
- ・高次救命治療センター など

連携

連携

院内診療
外来・病棟

地域の医療機関

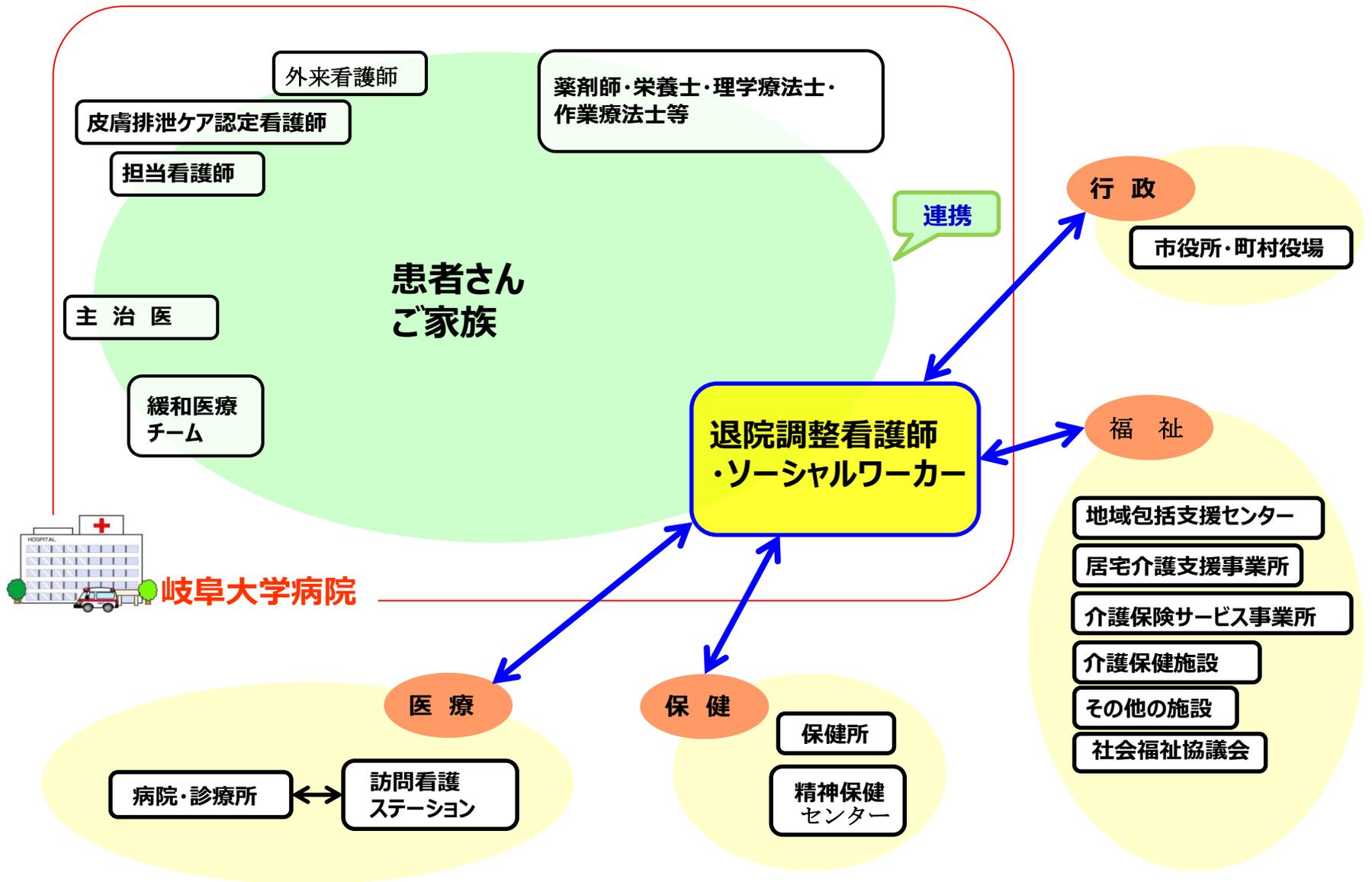
各連携部会（医会等）

研修（事例検討会・実習等）

地域関係者からの相談

前方支援・後方支援

退院支援に関する連携図



組織

- 1 構成要員：センター長，副センター長，センター専任看護師，ソーシャルワーカー，センター専任事務職員，（医師，臨床検査技師，薬剤師，栄養士）
- 2 稼働日：月～金曜日 8時30分～17時15分（祝祭日は稼働停止）

業務内容

医療連携センターでは下記の業務を行う。

1 診療予約

予約受付時間 平日 8:30 から 17:00

予約受付時間までに着信した依頼は，原則として受付後 30 分以内に折り返しFAXで予約票を返信する。

予約受付時間以降に着信した依頼は，翌朝返信とする。

休前日の場合は，休み明けの朝とする。

- (1) 紹介元の医療機関より依頼様式『紹介連絡・予約申込書』が送信されるので当院の受診歴の有無を確認の上，当院に受診するのが初めての患者であれば，電子カルテへ登録し患者ID番号を発行する。
- (2) 受診希望の診療科，希望日時を確認し，診療予約を電子カルテへ受付の入力を行う。
- (3) 紹介元の医療機関へFAXにて診察日時を連絡する。

2 検査予約

- (1) 紹介元の医療機関より依頼様式『紹介連絡・予約申込書』が送信されるので当院の受診歴の有無を確認の上，当院に受診するのが初めての患者であれば，電子カルテへ登録し患者ID番号を発行する。
- (2) 希望の検査日時を確認し，検査予約を電子カルテへ受付の入力を行う。
 - ・医療連携センターで扱う検査予約
CT, PET-CT, MRI, マンモグラフィ, 胃内視鏡, 心臓カテーテル検査
- (3) 紹介元の医療機関へFAXにて検査の予約票，必要であれば同意書・問診票・事前確認事項シートを送信し連絡する。

3 他病院の予約取得

- (1) 医師より患者を他医療機関へ紹介するよう，診療等の予約取得依頼があった場合，紹介先医療機関の予約申込書に必要事項を記入しFAX送信する。
- (2) 紹介先医療機関より，診察日時等の連絡をFAX受信したら，患者へ手渡し又は郵送する。

4 病診連携報告書の送付

- (1) 医師が出力した病診連携報告書は医療連携センターに届けられる。
- (2) 紹介元の医療機関へは原則FAX送信するが、郵送が必要な場合には『郵便発送依頼簿』に記載の上、郵送する。

5 医療連携に関する広報活動

(1) 『診療のご案内』

内容 職員顔写真，専門分野，診察日，病院組織体系と概要を確認できる。

発刊 年1回

配付先 岐阜県下の病院・医院，愛知県の一部（一宮市周辺）

(2) 『医療連携NEWS』

内容 大学病院の医療提供内容を，日頃の連携が濃い医療機関へ紹介する。

発刊 年3回（鵜舟と同様）

配付先 アライアンス締結病院，病診連携登録機関，関連病院へ広報誌『鵜舟』に同封し郵送

(3) 医療連携週間の開催（患者さん等への啓発活動）

内容 大学病院の医療提供をご理解いただく患者，地域住民向け情報提供の場として，地域医療機関と医療連携センターの機能と役割について，患者さん等に紹介する。

・医療に興味関心を持ってもらうなど，患者に分かりやすい・受診行動に繋がりやすい情報提供

・健康寿命の延伸に係る啓蒙活動

・医療連携センターの業務紹介

6 地域連携パス支援のモニター管理と運用の支援

患者が治療を受ける医療機関の間で共有する，治療開始から在宅復帰までの全体的な治療計画「地域連携クリティカルパス」についての運用

- (1) 開始時の患者登録
- (2) 各種書類の作成補助
- (3) 患者，家族等への補足説明
- (4) 診察・検査等の受診状況の把握と連携機関との連絡調整
- (5) データ収集・統計

7 退院支援

病棟看護師と医療連携センター看護師・ソーシャルワーカーが共同して入院前情報を活用

し、退院困難な要因を有する患者を早期に抽出し退院支援計画を立案する。入院後の早い段階で患者、家族と面談した内容を共有し安心、安全、スピーディな転院・退院調整に向け多職種支援カンファレンスを開催する。

*詳細はオンライン 運用マニュアル医療連携センター「入退院支援について」を参照

8 相談業務

患者相談窓口を常設し患者等からの苦情、医療に関する相談(医療安全に係ることを含む)に担当者を決め誠実に対応するとともに担当者は必要に応じて主治医、担当看護師等へ内容を報告する。また、これらの苦情や相談は医療機関の安全対策等の見直しにも活用する。

- (1) 患者相談窓口の活動の趣旨、設置場所、担当者及びその責任者、対応時間等について、患者等に明示する。
- (2) 患者相談窓口の活動に関し、相談に対応する職員、相談後の取扱い、相談情報の秘密保護、管理者への報告等に関する規約『岐阜大学医学部附属病院患者相談窓口取扱要項』の整備。
- (3) 相談により、患者や家族等が不利益を受けないよう適切に配慮する。
- (4) 医療相談の概要

受付時間 : 平日 9:00~17:00(祝・休日・年末年始を除く)

相談方法 : 面談または電話

相談場所 : 相談室 1 から 6, 診察室等

対象者 : 患者・家族 (よろず相談も含む)

原則、面談の予約は不要であるが、対応できない場合は、予約することもある。

医療連携センターで調整・予約する。

*セカンドオピニオン、女性専門相談は有料、それ以外は無料

(5) 医療相談の種類

①看護相談

外来患者・入院患者とその家族の療養についての相談に応じる。

退院に伴う在宅療養支援などに応じる。

療養生活指導が必要と思われる患者は、必要に応じて看護部外来・訪問看護師と連携する。

「難病相談」難病患者が安心して住み慣れた地域で療養できるための相談に応じる。

②医療福祉相談

医療費、生活費などの経済的問題や社会福祉制度の相談、仕事に関する相談、療養生活、転院、退院に伴う相談に応じる。

③がん相談・・・予約制

「がん」に関わる医療や、がん患者の生活についての相談、「生殖医療相談」がん治療に伴う妊孕性に伴う相談、「緩和ケア」に関する相談に応じる。

※相談時間は、30分程度までとする。

予約方法：がんセンターのがん相談支援センター（TEL：058-230-7049）に電話する。

④女性専門相談【予約制】

相談料 30分 11,000円（税込）、以下 30分毎 5,500円（税込）

女性医療スタッフによる健康相談。必要があれば専門医を紹介する。

予約方法 1 相談希望者は医療連携センターへ女性専門相談申込書を FAX する。

⑤セカンドオピニオン【予約制】

相談料 30分 11,000円（税込）、以下 30分毎 5,500円（税込）

診断法や治療法について主治医以外の意見を聞くことに関する相談に応じる。

申し込み・問い合わせは医療連携センター（TEL：058-230-7049）に電話する。

予約方法：病院ホームページを参照にして申し込む。

相談者が主治医にセカンドオピニオンを申し込むことを相談し、了解を得る。かかりつけの医療施設の医療連携部門から、申込書や診療情報提供書などを FAX にて岐阜大学病院の医療連携センターへ送付し、担当医と内容を確認し日程調整をしてから、予約日時をかかりつけの医療施設の医療連携部門へ FAX にて通知する。かかりつけの医療施設は、相談者へ予約日時を通知し、当日持参する診療情報提供書や資料等を渡す。

⑥要望・苦情等

診療についての要望、苦情等を受ける。

メディエーター・医療支援課と連携して相談に応じる。

9 医療機能連携協定(アライアンスパートナーズ)

地域医療連携の推進と医療の質の向上に資することを目的に、医療機能を異とする病院間の対等な協定を締結している。(2017年4月1日より実施し2020年4月現在 23医療機関と締結)

年に3回以上の病院訪問を実施し、双方の医療の情報交換・空床管理の共有を行い、スムーズな医療連携業務を担っている。

10 病診連携機関登録制度

地域医療の中心を担うかかりつけ医とのより緊密な医療連携を図ることが、地域医療の向上に繋がる。病診連携を通じて本院との患者の紹介・受入れ等に貢献している医療機関を病診連携登録機関として登録し、連携かかりつけ医として案内する病診連携機関登録制度を実施している。

(2018年10月1日より実施)

11 Webカルテシステム「ミナモねっと」

「ミナモねっと」は本院の患者が受診する他施設の医師、薬剤師等がインターネット回線を通じて、岐阜大学医学部附属病院で保有する患者さんの診療情報を診療所・薬局で閲覧できる。利用には登録が必要となる。

問い合わせ ミナモねっと担当 058-230-7376

受付時間 平日午前 8:30～

2) 医療連携センター職員の役割

職 務 名			役 割
医療連携センター（全員）			1. 医療連携センター運営委員会の運営 2. 医療連携センター研修会企画運営 3. 医療連携センター内検討会運営
医療連携センター長			1. 医療連携センター運営統括 2. 岐阜県医師会、岐阜市医師会との連携 （関連会議に出席、研修会・学会などの講演等）
医療連携副センター長			1. 医療連携センター運営管理 2. 岐阜県医師会、岐阜市医師会との連携 （関連会議に出席、研修会・学会などの講演等）
看護部	看護師	看護師長 1 名	1. 医療連携センター看護師・看護業務の管理 2. 相談業務（看護） 3. 看護学生等実習受け入れ体制の整備
		退院調整看護師 2 名 （副看護師長 1 名、 スタッフ 1）	1. 在宅に退院する患者の退院調整 2. 相談業務（看護） 3. がん相談支援センターの運営 4. 地域医療福祉関係者からの相談 5. 看護学生等実習受け入れ
		難病医療専門員 1 名 （看護師）	1. 難病医療の確保に関する関係機関との連絡調整 2. 福祉施設等への医学的指導、助言 3. 協力病院等の医療従事者向けの難病研修会の開催 4. 難病患者の療養環境改善のための政策提言 5. 看護学生実習受け入れ
		入院センター担当 看護師 5 名	1. 入院センターの運営

看護部	看護師	がんセンター 看護師長	1. がん相談支援センターの運営 2. がん患者サロンの運営
		メディエーター 看護師	1. 要望・苦情等受付

職 務 名			役 割
事務部	医療連携係	係長 1 名	<ul style="list-style-type: none"> ・医療連携センター事務業務の管理 ・拠点病院事務（肝疾患診療支援センター、難病医療連絡協議会、エイズ対策推進センター） ・医療連携センター広報関連 ・セカンドオピニオン ・転院もしくは社会復帰・社会的問題のある患者の退院調整 ・相談業務（経済・社会保障・生活上の問題等） ・地域連携パス（脳卒中）関連業務 ・がん相談支援センター関連業務 ・地域医療福祉関係者からの相談 ・看護学生等実習受け入れ ・パスコーディネーター業務 （必要書類作成、患者家族への説明、医療機関との調整、パスモニター、地域医療機関関係者との会議等に参加） ・予約業務 （診療及び検査予約、セカンドオピニオン・女性相談） ・拠点病院事務（肝疾患診療支援センター、難病医療連絡協議会、エイズ対策推進センター） ・医療連携センター広報関連 ・病診連携に係る報告書等の送付
	ソーシャル ワーカー	係員 4 名 （内 1 名パスコーディネーター）	
		医療連携係員 5 名	

事務部	医療支援係	係長 1 名 がん相談員 1 名	<ul style="list-style-type: none"> ・がんセンター事務業務の管理 ・拠点病院事務（がん診療連携拠点病院） ・がん患者サロンの開催 ・がん患者サロン学習会の開催
	診療 サービス係	係長 1 名	<ul style="list-style-type: none"> ・要望・苦情等受付

3) アライアンスパートナーズ／医療機能連携協定締結医療機関一覧

平成 29 年 4 月より国立大学法人岐阜大学医学部附属病院は、患者により適切な医療を提供するため、相互に有する医療機能を発揮し、連携を円滑に行うことにより質の高い医療環境を確保することを目指し、10 医療機関と相互が緊密な医療連携を図ることを目的として協定を締結しました。

平成 29 年 10 月には新たに 13 医療機関と協定を締結しました。

(2019 年 4 月現在)

医療機能連携協定締結病院 (平成 29 年 4 月 1 日～)		医療機能連携協定締結病院 (平成 29 年 10 月 1 日～)	
1	医療法人 清光会 岐阜清流病院	1	岐阜県厚生農業協同組合連合会 中濃厚生病院
2	医療法人社団 誠広会 平野総合病院	2	美濃市立美濃病院
3	山内ホスピタル	3	公立学校共済組合 東海中央病院
4	医療法人社団 友愛会 岩砂病院・岩砂マタニティ	4	医療法人徳洲会 大垣徳洲会病院
5	医療法人社団 幸紀会 安江病院	5	医療法人社団 厚仁会 操外科病院
6	岐阜県厚生農業協同組合連合会 揖斐厚生病院	6	医療法人社団 志朋会 加納渡辺病院
7	岐阜県厚生農業協同組合連合会 岐北厚生病院	7	医療法人 和光会 山田病院
8	羽島市民病院	8	医療法人社団 慈朋会 澤田病院
9	医療法人社団 登豊会 近石病院	9	医療法人 岐阜勤労者医療協会 みどり病院
10	医療法人 清友会 笠松病院	10	医療法人香徳会 関中央病院
		11	医療法人社団 カワムラヤスオメディカルソ サエティ 河村病院
		12	医療法人社団 橘会 新生病院
		13	医療法人社団 誠道会 各務原リハビリテーション病院

4) 病診連携登録機関一覧

(県別)、市町村コード、郵便番号順

2020年1月1日現在

医療機関名	郵便番号	住所	電話番号
◆ 岐阜市			
川出医院	500-8023	岐阜市今町2-3-6	058-264-8296
サン新妻デンタルクリニック	500-8034	岐阜市本町1-1-4	058-263-0664
いなば内科	500-8043	岐阜市伊奈波通1-5-1	058-263-0178
河合内科医院	500-8113	岐阜市金園町4-3-2	058-245-0564
安江内科クリニック	500-8136	岐阜市雪見町2-1-7	058-248-2266
高井クリニック	500-8148	岐阜市曙町2-1-7-1	058-247-2356
医療法人和光会 山田メディカルクリニック	500-8167	岐阜市東金宝町1-1-2	058-265-1411
おげきクリニック	500-8175	岐阜市長住町1-2-3	058-267-1811
福富胃腸クリニック	500-8175	岐阜市長住町2-3 岐阜ビル3F	058-265-6161
すみ痛みのクリニック	500-8175	岐阜市長住町2-3 岐阜ビル5F	058-212-0666
きしもと矯正歯科クリニック	500-8175	岐阜市長住町2-4 大橋ビル3F	058-266-9001
阪野クリニック	500-8178	岐阜市清住町1-2-2	058-213-1199
かわぐちクリニック	500-8178	岐阜市清住町2-1-6 萬甚ビル1F	058-216-0191
棚橋耳鼻咽喉科	500-8186	岐阜市霞町2-4	058-263-4523
矢嶋小児科小児循環器クリニック	500-8212	岐阜市日野南7-1-0-7	058-240-5666
なかたにクリニック	500-8222	岐阜市琴塚2-7-1-6	058-249-0567
はしもと内科	500-8225	岐阜市岩地1-2-8	058-245-5641
近藤ゆか耳鼻咽喉科	500-8226	岐阜市野一色6-8-6	058-245-3939
長森こどもクリニック	500-8232	岐阜市前一色2-2-0-1-4	058-240-1140
青山眼科クリニック	500-8233	岐阜市蔵前6-1-6-1	058-248-1011
はやし内科クリニック	500-8241	岐阜市領下6-2-5-1	058-245-1960
まつおクリニック	500-8263	岐阜市茜部新所4-1-3-2-1	058-275-2345
中原クリニック	500-8301	岐阜市浪花町2-1-5	058-254-1711
新美クリニック	500-8309	岐阜市都通1-6	058-252-0213
朝日大学PDI岐阜歯科診療所	500-8309	岐阜市都通5-1-5	058-329-1112
森内科クリニック	500-8323	岐阜市鹿島町5-1-8	058-254-8200
たかはし整形外科	500-8345	岐阜市菊地町2-1-5	058-271-6766
つちや整形外科	500-8359	岐阜市六条北2-1-0-9 六条メディカルモール	058-277-3601
つばさ皮膚科クリニック	500-8359	岐阜市六条北2-1-0-9 六条メディカルモール	058-277-3602
泌尿器科皮膚科竹内クリニック	500-8362	岐阜市西荘2-5-5-0	058-213-7945
なかのまちクリニック	500-8364	岐阜市本荘中ノ町1-0-2-9-1	058-275-5050
なだこどもとアレルギーのクリニック	500-8381	岐阜市市橋3-9-7	058-271-6626
中山耳鼻咽喉科	500-8381	岐阜市市橋4-1-3-6	058-275-6353
操健康クリニック	500-8384	岐阜市藪田南1-4-2-0	058-274-0330
やぶたこどもクリニック	500-8384	岐阜市藪田南3-6-3	058-278-5255
よしだファミリークリニック	500-8402	岐阜市竜田町7-8-1	058-248-1118
加納内科 リウマチ科・糖尿病内科クリニック	500-8408	岐阜市住ノ江町2-1	058-263-7711
河合外科整形外科	500-8451	岐阜市加納上本町2-1-6	058-272-2046
わたなべ皮膚科	500-8469	岐阜市加納竜興町1-1-0	058-277-6561
高橋産婦人科	500-8818	岐阜市梅ヶ枝町3-4-1-3	058-263-5726
まつもとペインクリニック整形外科	500-8823	岐阜市江川町1-4	058-267-6070
小木曾医院	500-8833	岐阜市神田町2-4	058-262-2320
医療法人 尚美会 なおみ皮膚科クリニック	500-8833	岐阜市神田町9-2	058-265-0703
ホリ歯科矯正研究所	500-8833	岐阜市神田町9-2-2 パリスビル3F	058-262-7832
森皮膚科	500-8842	岐阜市金町5-1-1	058-265-5135
シティ・タワー診療所	500-8856	岐阜市橋本町2-5-2 岐阜シティ・タワー4-3 3F	058-269-3270
やまが整形外科	500-8864	岐阜市真砂町9-1-5	058-264-8822
小牧内科クリニック	500-8865	岐阜市昭和町2-1-1	058-253-7717
竹田クリニック	501-0105	岐阜市河渡3-1-1-0	058-254-0066
はっとりクリニック	501-0112	岐阜市鏡島精華2-4-2-5	058-252-3200
眼科クリニックやすえ	501-0123	岐阜市鏡島西2-3-1-2	058-255-4100
育誠会 木野村医院	501-0123	岐阜市鏡島西2-1-6-1-1	058-253-6530
福富医院	501-1109	岐阜市安食1-2-2-8	058-238-8555
なかむら歯科医院	501-1113	岐阜市大学西2-1-4-7-3	058-234-1200
西本整形外科リハビリクリニック	501-1121	岐阜市古市場3-2-1-7	058-230-2301
立山クリニック	501-1127	岐阜市古市場神田8-1-1	058-234-7779
ベルデンタルオフィス黒野	501-1128	岐阜市洞9-9-1	058-215-0991

医療機関名	郵便番号	住所	電話番号
岐北クリニック	501-1128	岐阜市洞稲木994-12	058-234-5555
ソフィア歯科クリニック	501-1131	岐阜市黒野字溝西501-7	058-234-0181
西村歯科医院	501-1131	岐阜市黒野467-3	058-239-0011
深尾歯科	501-1132	岐阜市折立430-1	058-234-1234
みながわ内科・循環器科クリニック	501-1132	岐阜市折立895-1	058-234-8077
かわごえクリニック	501-1135	岐阜市木田2-17-1	058-234-2221
かさい内科クリニック	501-1148	岐阜市上尻毛日吉125	058-239-0770
いなば歯科医院	501-1151	岐阜市川部5-29-1	058-234-1812
又丸診療所	501-1152	岐阜市又丸67-7	058-234-4747
ささき歯科医院	501-1154	岐阜市又丸柳町2-14	058-230-1212
東クリニック	501-1155	岐阜市又丸宮東20-1	058-239-6612
森整形外科リハビリクリニック	501-1161	岐阜市西改田川向137-1	058-230-9005
七郷クリニック	501-1168	岐阜市西改田上の町62-3	058-234-5155
谷村クリニック	501-1177	岐阜市中西郷4-67-1	058-234-8610
みわ眼科	501-2525	岐阜市春近古市場南86-1	058-229-3888
いずみ歯科	501-2535	岐阜市石原2-204-2	058-229-7177
松井医院	501-2535	岐阜市石原3-116	058-229-5655
石田内科	501-2562	岐阜市福富出口143	058-229-5530
不破クリニック	501-2572	岐阜市太郎丸北郷243-5	058-229-6081
大前医院	501-2576	岐阜市太郎丸新屋敷205-2	058-229-3131
加藤医院	501-3109	岐阜市向加野3-6-20	058-243-1114
眼科 林クリニック	501-3123	岐阜市大洞柏台4-3-3	058-241-7782
おやま皮膚科クリニック	501-3133	岐阜市芥見南山2-6-1	058-241-0011
安達整形外科	501-3133	岐阜市芥見南山2-8-4	058-242-2232
森田整形外科	501-3134	岐阜市芥見3-314	058-241-0785
まるの内科クリニック	501-6115	岐阜市柳津町丸野1-70-1	058-387-8282
黒田内科クリニック	501-6121	岐阜市柳津町上佐波西3-151	058-270-0500
やまだ整形外科・内科クリニック	501-6121	岐阜市柳津町下佐波1-3	058-270-1777
一般社団法人 ぎふ総合健診センター	501-6133	岐阜市日置江4-47	058-279-3399
増田医院	502-0002	岐阜市粟野東4-26-2	058-237-4000
三田洞歯科医院	502-0006	岐阜市粟野西2-54-1	058-237-2340
あいデンタルクリニック	502-0006	岐阜市粟野西3-61-1	058-237-4567
藤垣クリニック	502-0006	岐阜市粟野西3-79-1	058-237-6100
高木医院	502-0022	岐阜市長良東郷町1-7	058-232-3647
古田耳鼻咽喉科	502-0029	岐阜市長良若葉町1-6	058-233-8187
おおにし内科クリニック	502-0045	岐阜市長良校前町4-7	058-231-7009
小倉医院	502-0047	岐阜市長良葵町1-2-3	058-231-1573
上久保内科クリニック	502-0052	岐阜市長良小松町2-10	058-296-1360
眼科 好明館	502-0071	岐阜市長良157-1	058-232-3952
ポッポの家診療所	502-0071	岐阜市長良1278-1	058-294-5757
宮崎千恵婦人クリニック	502-0071	岐阜市長良1972-5	058-233-5553
和田内科クリニック	502-0081	岐阜市長良2-156	058-297-2676
三輪こどもクリニック	502-0082	岐阜市長良東2-63	058-295-0680
ながら耳鼻科・内科クリニック	502-0082	岐阜市長良東2-127-1	058-210-2080
MIWA内科胃腸科CLINIC	502-0082	岐阜市長良東3-3	058-231-3029
波多野泌尿器科皮ふ科医院	502-0812	岐阜市八代1-2-12	058-294-6201
長良内科クリニック	502-0812	岐阜市八代2-11-1	058-242-9933
長良整形外科クリニック	502-0812	岐阜市八代3-10-12	058-296-2255
あそファミリー眼科	502-0813	岐阜市福光東1-1-18	058-295-3006
ともえだ皮フ科	502-0813	岐阜市福光東1-24-9	058-215-5588
たてべファミリークリニック	502-0813	岐阜市福光東2-4-3	058-296-1231
正芳会 細野医院	502-0814	岐阜市福光西3-9-13	058-233-6620
ほその歯科医院	502-0814	岐阜市福光西3-9-10	058-232-4180
岸本医院	502-0815	岐阜市福光南町14-15	058-232-2882
ごとう整形外科	502-0815	岐阜市福光南町22-1	058-333-7446
ひろせ歯科医院	502-0815	岐阜市福光南町22-6	058-294-6489
長良きとう歯科	502-0827	岐阜市平和通1-1-2	058-296-5050
平和通ハート内科	502-0827	岐阜市平和通1-17-1	058-210-1192
高橋眼科医院	502-0847	岐阜市早田栄町1-23	058-231-4398

医療機関名	郵便番号	住所	電話番号
いまいずみクリニック	502-0847	岐阜市早田栄町4-23	058-210-1184
松原歯科クリニック	502-0849	岐阜市栄新町1-12	058-231-5151
鷺山大橋内科医院	502-0851	岐阜市鷺山1257	058-232-0715
たろう整形外科	502-0851	岐阜市鷺山1768-580	058-297-2321
三和歯科医院	502-0857	岐阜市正木1199-2	058-232-6000
医療法人 高井外科	502-0857	岐阜市正木1978-72	058-231-6055
そぶえ歯科医院	502-0857	岐阜市正木1981-37	058-294-3315
河田医院	502-0859	岐阜市城田寺311	058-232-8399
さぎ山クリニック	502-0872	岐阜市鷺山北町8-29	058-233-8733
マサキ歯科クリニック	502-0881	岐阜市正木北町3-8	058-296-6070
石黒クリニック	502-0881	岐阜市正木北町6-37	058-231-1515
かわのキッズファミリー歯科	502-0881	岐阜市正木北町7-1 ロックスビル1FA号	058-214-6620
レディースクリニック まぶち	502-0881	岐阜市正木北町12-10	058-297-1103
基生会 おおのレディースクリニック	502-0901	岐阜市光町1-44	058-233-0201
ちかいしクリニック	502-0901	岐阜市光町2-44	058-210-1155
佐久間耳鼻咽喉科	502-0903	岐阜市美島町3-21-1	058-231-6974
土野メンタルクリニック	502-0905	岐阜市山吹町6-19-2	058-295-6555
しま医院	502-0906	岐阜市池ノ上町4-74	058-233-8732
中島洋診療所	502-0909	岐阜市白菊町2-27	058-232-1493
関谷内科外科病院	502-0911	岐阜市北島1-7-24	058-233-5333
恩田眼科クリニック	502-0911	岐阜市北島4-6-8	058-296-1500
りお歯科クリニック	502-0911	岐阜市北島8-1-1	058-260-8787
いちき皮膚科	502-0913	岐阜市東島3-9-13	058-231-1237
いずみレディースクリニック	502-0914	岐阜市菅生6-2-4	058-296-4141
梅田クリニック	502-0926	岐阜市旦島1-6-14	058-295-5055
なかしま脳神経外科クリニック	502-0929	岐阜市則武東2-15-18	058-215-8668
のりたけキッズベビークリニック	502-0929	岐阜市則武東2-19-18	058-215-5586
うすい歯科口腔外科クリニック	502-0932	岐阜市則武中1-27-24	058-232-9677
青木内科・眼科	502-0932	岐阜市則武中3-5-15	058-232-5131
せきぐちクリニック	502-0932	岐阜市則武中4-2-1	058-294-0230
石村内科	502-0933	岐阜市日光町9-7-1	058-232-6700
戸谷内科	502-0934	岐阜市大福町8-35	058-231-3969
おのぎクリニック	502-0936	岐阜市萱場南2-12-17	058-295-1500
◆ 大垣市			
医療法人 守田クリニック	503-0015	大垣市林町4-57-1	0584-74-9002
大垣在宅クリニック	503-0015	大垣市林町6-80-55 AOKI大垣駅北口ビル2F	0584-81-4333
ほり眼科	503-0019	大垣市北方町4-91-1	0584-73-2511
もりレディースクラブクリニック	503-0021	大垣市河間町1-13	0584-74-1888
沼口医院	503-0023	大垣市笠木町650	0584-91-3406
竹中医院	503-0026	大垣市室村町1-54-2	0584-78-4531
いかわクリニック	503-0801	大垣市和合新町1-79-1	0584-82-7800
クリニック ママ	503-0807	大垣市今宿3-34-1	0584-73-5111
松岡内科クリニック	503-0856	大垣市新田町2-14	0584-89-1948
市川外科	503-0976	大垣市南若森町328	0584-75-5078
赤坂あきたクリニック	503-2201	大垣市草道島町508	0584-71-3311
大垣セントラルクリニック	503-2214	大垣市赤坂新田1-63-1	0584-71-0163
長沢整形外科	503-2224	大垣市稲葉東3-18-1	0584-92-2233
◆ 高山市			
ひだ高山整形外科	506-0054	高山市岡本町2-94-2	0577-36-7711
◆ 関市			
平岡医院	501-2601	関市武芸川町谷口834	0575-46-3027
関市国民健康保険洞戸診療所	501-2812	関市洞戸市場292-3	0581-58-2201
きくいけ整形外科	501-3217	関市下有知5230-1	0575-21-0400
佐曾利ひふ科医院	501-3236	関市辻井戸町1-15	0575-23-1770
柳田整形外科	501-3237	関市緑町2-1-10	0575-24-2323
谷口眼科	501-3237	関市緑町2-1-12	0575-21-5005
せきレディースクリニック	501-3255	関市段下28-2	0575-22-5553
大前医院おぜ診療所	501-3265	関市小瀬河戸前557-1	0575-25-0333
こんどう眼科クリニック	501-3919	関市平成通2-7-33	0575-21-2770

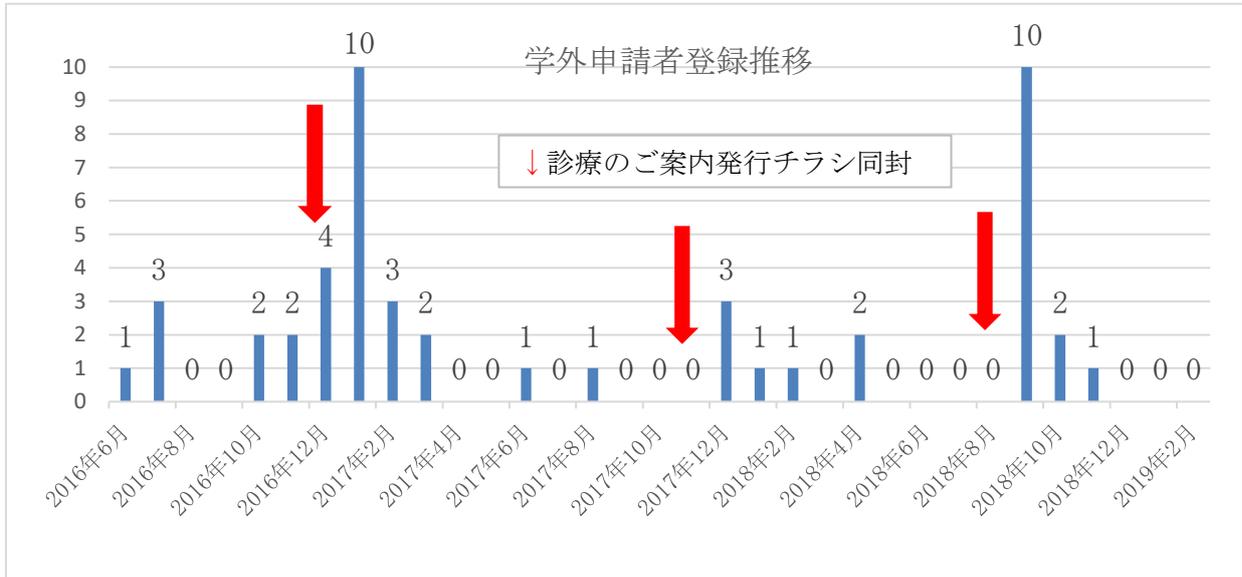
医療機関名	郵便番号	住所	電話番号
◆ 羽島市			
小田内科	501-6207	羽島市足近町1-4 1-1	058-392-1225
たかはし眼科クリニック	501-6227	羽島市正木町曲利1 0 5 7 - 1	058-394-1166
岩佐医院	501-6229	羽島市正木町坂丸2 - 1 3 0	058-392-8888
河合胃腸科クリニック	501-6232	羽島市竹鼻町狐穴1 1 2 0 - 1	058-392-5118
花林レディースクリニック	501-6244	羽島市竹鼻町丸の内4 - 5	058-248-6011
ながき内科クリニック	501-6301	羽島市舟橋町宮北1-2 7	058-393-0077
◆ 美濃加茂市			
太田メディカルクリニック	505-0041	美濃加茂市太田町2 8 2 5	0574-26-2220
医療法人 いど眼科	505-0046	美濃加茂市西町7-2 9 6	0574-24-1213
◆ 各務原市			
花井整形外科	504-0018	各務原市那加西市場町4-1-2	058-371-6222
佐々木クリニック	504-0018	各務原市那加西市場町7-2 8 5 - 5	058-371-6663
各務原そはらクリニック	504-0816	各務原市蘇原東島町3-1 0 7 - 1	058-371-6101
いなづみ眼科	504-0825	各務原市蘇原柿沢町1-3 9	058-371-0810
酒井クリニック	504-0825	各務原市蘇原柿沢町1-4 7	058-382-1002
小野木医院	504-0847	各務原市蘇原大島町5-1 6 7	058-382-0080
西野クリニック	504-0941	各務原市三井町1-5 5 - 2	058-371-0500
スマいるハートクリニック	504-0966	各務原市那加本町2 1 - 3 広沢ビル2 F南	058-201-7081
永田産婦人科	504-0968	各務原市那加西野町1 9 0	058-382-0058
五島医院	509-0104	各務原市各務おがせ町9-3	058-384-0122
米倉胃腸科クリニック	509-0132	各務原市鷺沼西町3-1 3 1-1	058-370-0781
フェニックス総合クリニック	509-0141	各務原市鷺沼各務原町6-5 0	058-322-2000
おおの内科クリニック	509-0144	各務原市鷺沼大伊木町2-8 5 - 1	058-370-0090
寺本こどもクリニック	509-0146	各務原市鷺沼三ツ池町3-4 2 6 - 1	058-385-5225
◆ 山県市			
宇野クリニック	501-2102	山県市伊佐美東川2 4 3	0581-27-2100
てらしま整形外科	501-2104	山県市東深瀬1 7 5 - 1	0581-27-0287
遠渡内科	501-2104	山県市東深瀬6 8 3 - 3	0581-27-2888
にのみやクリニック	501-2105	山県市高富9 2 7 - 1	0581-22-1717
やまもと整形外科	501-2105	山県市高富2 0 9 2 - 1	0581-27-0170
たかとみ眼科	501-2105	山県市高富2 1 1 3 - 1	0581-22-0123
あらいクリニック	501-2105	山県市高富2 1 1 9 - 1	0581-23-1188
おくだ歯科クリニック	501-2105	山県市高富2 1 2 1 - 1	0581-23-4188
西村歯科	501-2113	山県市高木9 8 3 - 1	0581-27-0555
鳥沢クリニック	501-2113	山県市高木1 0 1 6 - 1	0581-22-1088
鳥澤医院	501-2123	山県市大森3 8 1	0581-36-2311
◆ 瑞穂市			
明石クリニック	501-0203	瑞穂市馬場上光町1-1 0 6	0581-27-0287
宇土医院	501-0205	瑞穂市馬場小城町1-8 2	058-327-5513
ひぐちクリニック	501-0222	瑞穂市別府7 2 5 - 1	058-327-3111
吉村内科	501-0222	瑞穂市別府1 2 9 7	058-327-0020
いとらレディースケアクリニック アネックス	501-0222	瑞穂市別府字堤内五ノ町1 2 2 7 - 1	058-216-7770
さくらクリニック	501-0224	瑞穂市稲里6 8 9 - 3	058-325-0570
サンシャインM&Dクリニック	501-0236	瑞穂市本田1 7 4 - 1	058-329-5522
熊田医院耳鼻咽喉科	501-0236	瑞穂市本田三ノ改田1 0 4 6 - 1	058-329-1503
医療法人 清光会 名和内科	501-0311	瑞穂市重里2 0 0 5	058-328-3311
◆ 本巣市			
えさきクリニック	501-0406	本巣市三橋3-6 0	058-320-2800
やま皮膚科	501-0406	本巣市三橋3-8 5	058-320-0055
糸貫内科クリニック	501-0406	本巣市三橋2 0 5 - 1	058-323-7117
堀部クリニック	501-0407	本巣市仏生寺2 4 - 5	058-324-8181
なかしま医院	501-0419	本巣市早野6 5 3 - 1	058-320-3838
まくわクリニック	501-0465	本巣市軽海4 9 5 - 7	058-323-9199
医療法人 幸仁会 白木医院	501-0466	本巣市下真桑7 1 6	058-323-0357
宝寿クリニック	501-1203	本巣市文殊1 1 5 - 7 5	0581-34-3838
国枝医院	501-1203	本巣市文殊8 8 1 - 1	0581-34-2262
もんじゅ歯科	501-1203	本巣市文殊1 6 8 4 - 4	0581-34-3301
本巣内科クリニック	501-1205	本巣市曾井中島宮前1 0 1 1	0581-34-4643
本巣市国民健康保険根尾診療所	501-1522	本巣市根尾樽見8 0	0581-38-2571

医療機関名	郵便番号	住所	電話番号
◆ 下呂市			
村瀬眼科クリニック	509-2515	下呂市萩原町花池17-1	0576-53-1122
◆ 羽島郡			
しみず整形外科リハビリクリニック	501-6001	羽島郡岐南町上印食5-108-1	058-248-6011
サンライズクリニック	501-6004	羽島郡岐南町野中3-220	058-247-3322
やまうちクリニック	501-6011	羽島郡岐南町八剣北5-79-1	058-215-7771
渡辺小児科	501-6012	羽島郡岐南町八剣1-24	058-246-8882
総合在宅医療クリニック	501-6014	羽島郡岐南町薬師寺4-12	058-213-7830
北田内科クリニック	501-6018	羽島郡岐南町下印食2-45	058-278-1030
おくむらメモリークリニック	501-6018	羽島郡岐南町下印食3-14-1	058-215-5509
ごとう歯科	501-6062	羽島郡笠松町田代815	058-387-0955
◆ 養老郡			
養老整形外科クリニック	503-1324	養老郡養老町大跡534	0584-34-3946
船戸クリニック	503-1382	養老郡養老町船附1344	0584-35-3335
◆ 不破郡			
国保関ヶ原診療所	503-1514	不破郡関ヶ原町大字関ヶ原2490-29	0584-43-1122
◆ 安八郡			
高田医院	503-2305	安八郡神戸町大字神戸468	0584-27-2015
小児・アレルギークリニック inGODO	503-2306	安八郡神戸町北一色582-2	0584-27-5115
竹田整形外科	503-2306	安八郡神戸町北一色825	0584-27-8777
大垣北クリニック	503-2321	安八郡神戸町末守737-1	0584-27-1050
◆ 揖斐郡			
クリニック ラポール	501-0513	揖斐郡大野町大字大野924-1	0585-32-0033
小森内科胃腸科	501-0521	揖斐郡大野町黒野645-1	0585-34-1000
大久保医院	501-0521	揖斐郡大野町黒野734-5	0585-32-1510
りょうすけ歯科クリニック	501-0521	揖斐郡大野町黒野1723-4	0585-36-0363
たしろクリニック	501-0532	揖斐郡大野町下磯498-1	0585-36-1168
おおのクリニック	501-0553	揖斐郡大野町南方二度桜191	0585-35-0055
野原クリニック	501-0615	揖斐郡揖斐川町清水1673-1	0585-22-0348
のだ医院	501-0619	揖斐郡揖斐川町三輪111-8	0585-22-3939
いびレディースクリニック	501-0619	揖斐郡揖斐川町三輪719-1	0585-23-0050
揖斐川町久瀬診療所	501-0702	揖斐郡揖斐川町東津汲974-1	0585-54-2040
長瀬診療所	501-1303	揖斐郡揖斐川町谷汲長瀬1510-1	0585-56-3003
谷汲中央診療所	501-1314	揖斐郡揖斐川町谷汲名礼246-7	0585-56-3133
まつばら眼科	503-2424	揖斐郡池田町池野145-2	0585-44-1233
今村医院	503-2424	揖斐郡池田町池野505-2	0585-45-2133
いけだ整形外科リウマチクリニック	503-2426	揖斐郡池田町八幡1011-1	0585-45-3344
◆ 本巣郡			
いのうえクリニック	501-0423	本巣郡北方町芝原東町3-50	058-323-8077
いとう耳鼻咽喉科	501-0425	本巣郡北方町加茂473	058-323-8741
いとうレディースケアクリニック	501-0431	本巣郡北方町北方3195	058-323-7101
医療法人 若葉会 さとうファミリークリニック	501-0434	本巣郡北方町小柳1-95	058-323-2511
北方中央歯科医院	501-0435	本巣郡北方町春來町2-144	058-323-2233
きらら歯科・矯正歯科医院	501-0438	本巣郡北方町平成1-1	058-323-4686
いぬづか眼科	501-0441	本巣郡北方町曲路3-21-1	058-320-3077
北方在宅クリニック	501-0444	本巣郡北方町柱本白坪2-3	058-322-3901
野口整形外科内科医院	501-0446	本巣郡北方町柱本592-3	058-320-3232
鹿野クリニック	501-0454	本巣郡北方町高屋白木2-77	058-324-1222
モアレディスククリニック	501-0456	本巣郡北方町高屋条里3-90	058-320-0311
◆ 愛知県			
安井眼科医院	455-0831	名古屋市港区十一屋2-416-2	052-389-1185
医療法人 碧樹会 山林眼科	464-0850	名古屋市千種区今池1-5-10 千種KIビル5F	052-731-2197
◆ 三重県			
医療法人 ふかつ眼科	510-8014	三重県四日市市富田4-6-15	059-365-7226

Webカルテシステム 学外申請者一覧

診療所	37施設 74人
病院	6施設 35人
薬局	3施設10人
訪問看護ステーション	1施設1人

合計 49施設 120人



Webカルテシステム 学内申請者一覧

所属部署	人数
医療連携センター	1
医療情報部	1
第一外科	1
耳鼻咽喉科・頭頸部外	9
形成外科	2
第二内科	2

合計 16人

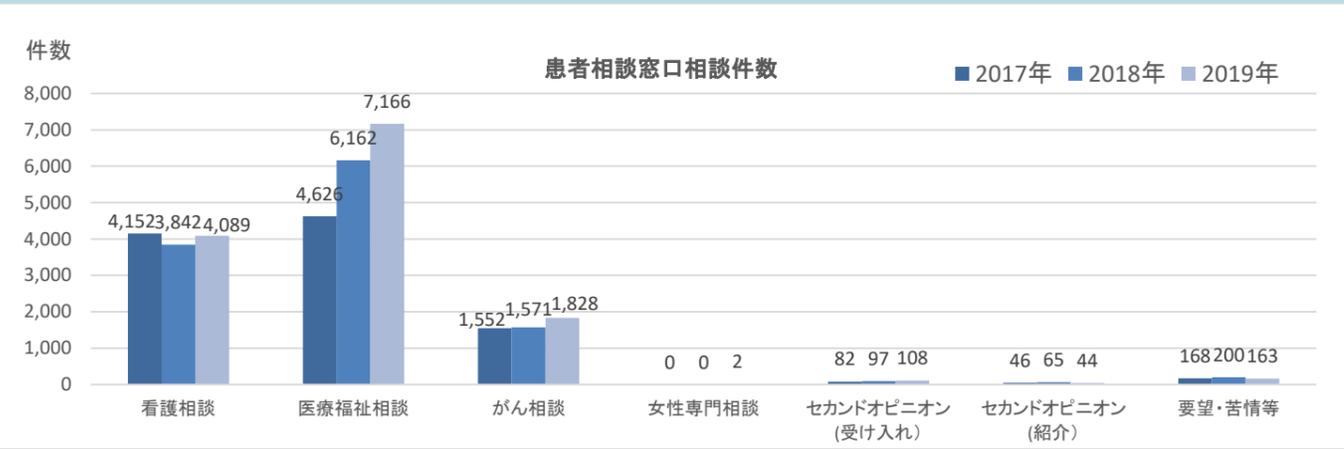
Webカルテシステム 閲覧同意取得者一覧



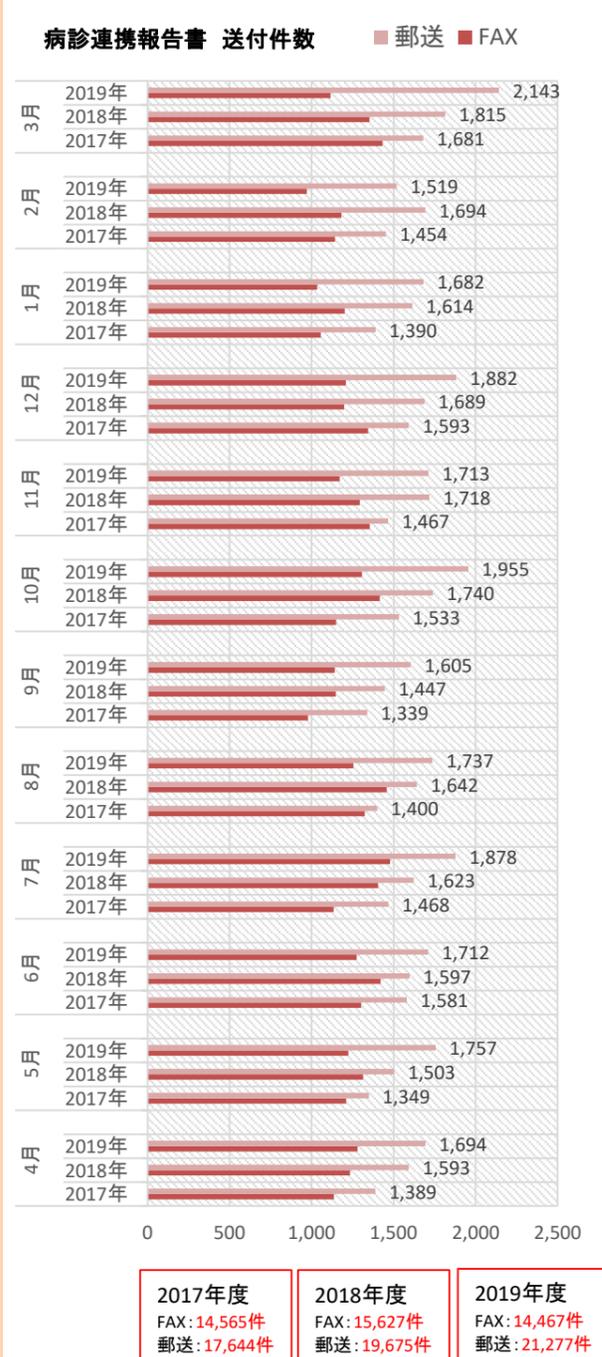
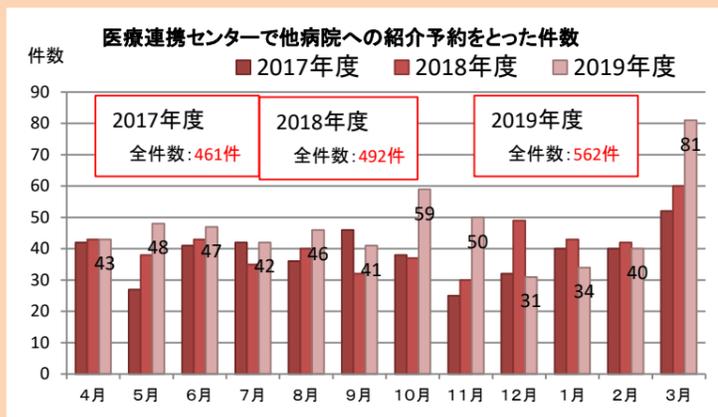
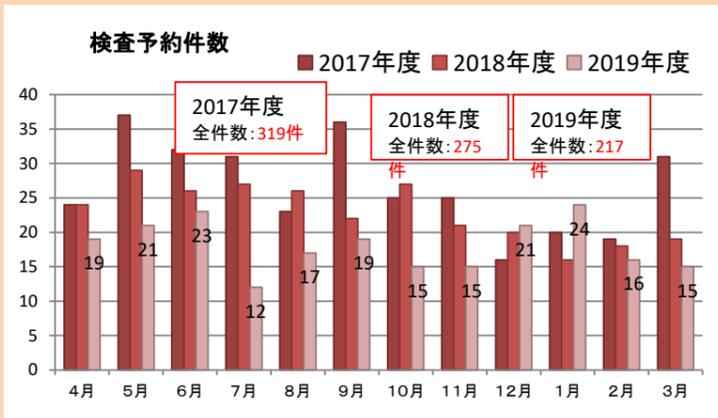
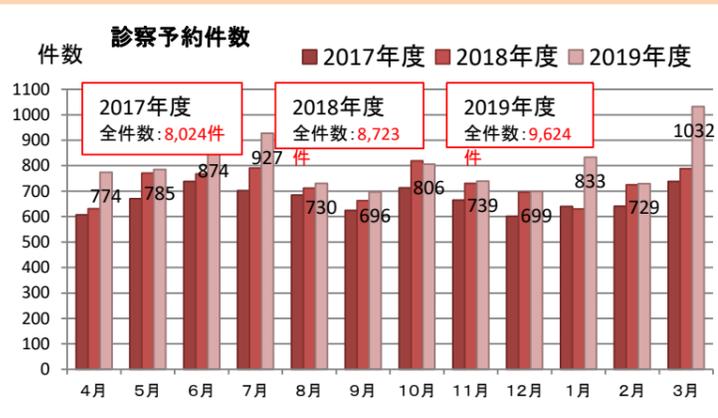
第2章 業務報告（各種統計）

医療連携センター業務実績(2019年度)

1 相談窓口業務

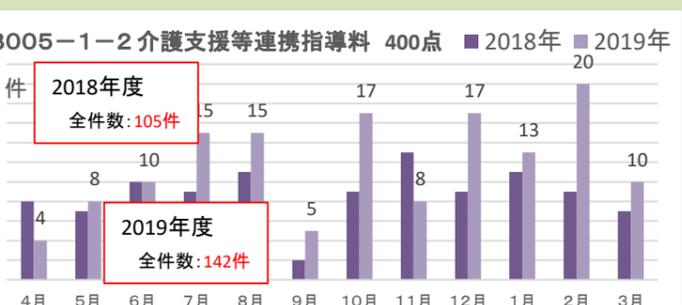
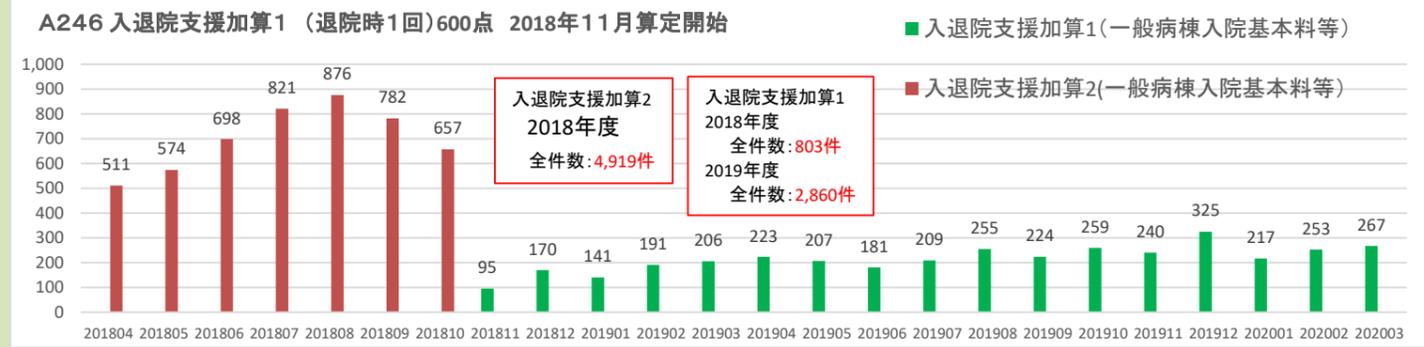
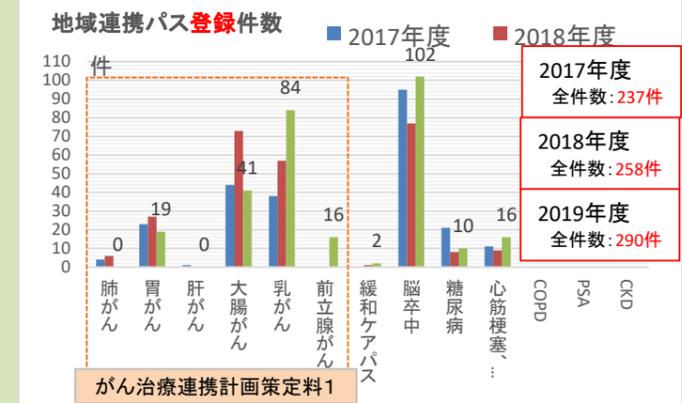
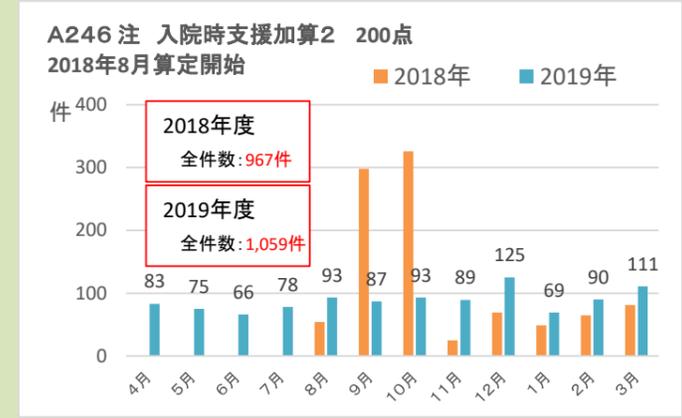
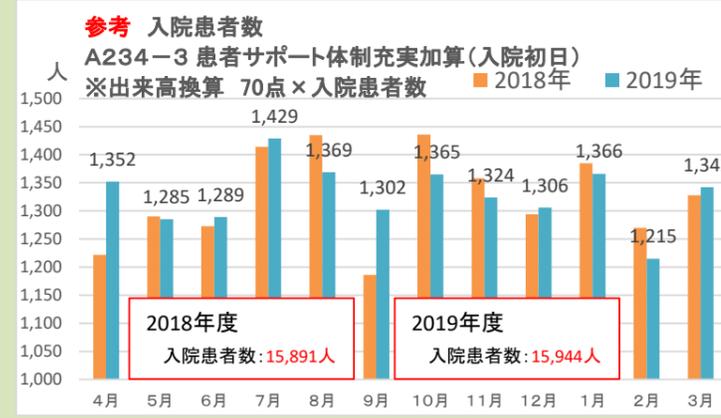


2 前方支援業務



2017年度 FAX: 14,565件 郵送: 17,644件
 2018年度 FAX: 15,627件 郵送: 19,675件
 2019年度 FAX: 14,467件 郵送: 21,277件

3 診療報酬算定実績(件数)・地域連携パス登録件数



医療連携センター業務実績(2019年度) 2

4 後方支援詳細

医療連携センター相談件数(疾患別)



退院先(内訳)

退院先	2017年度	2018年度	2019年度
自宅退院	337件	432件	426件
病院転院	635件	729件	704件
施設転所	21件	23件	47件
死亡	40件	40件	27件
合計	1,033件	1,224件	1,204件

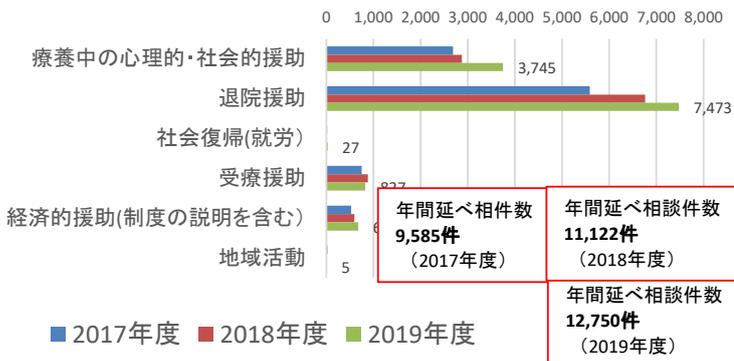
2017年度の院内退院件数は、14,935件で連携センターは、全体の6.9%にかかわりを持った。

2018年度の院内退院件数は、15,902件で連携センターは、全体の7.7%にかかわりを持った。

2019年度の院内退院件数は、15,935件で連携センターは、全体の7.6%にかかわりを持った。

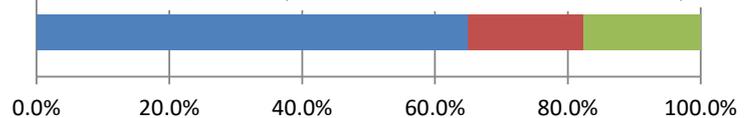
■ 自宅(退院) ■ 病院(転院) ■ 施設(転帰)

相談内容(重複あり)



相談依頼者

医師(院内), 65.0% 看護師(院内), 17.3% その他, 17.7%



家族	536
本人	380
ケアマネジャー(地域包括支援センター含む)	261
独自	177
MSW(院内)	113
保健所(保健師等)	104
訪問看護	98
かかりつけ医	79
他病院(MSW等)	79
市町村	55
県関係機関	41
その他(関係機関)	30
その他(院内)	14
事務(院内)	9
他コメディカル(院内)	7
介護保健施設等	6
友人・知人	5
一般	0

※相談依頼者でその他の内訳10%以下を表示(件数表示)

転院先医療機関一覧



5) 参考資料 月別紹介率と逆紹介率の年次推移

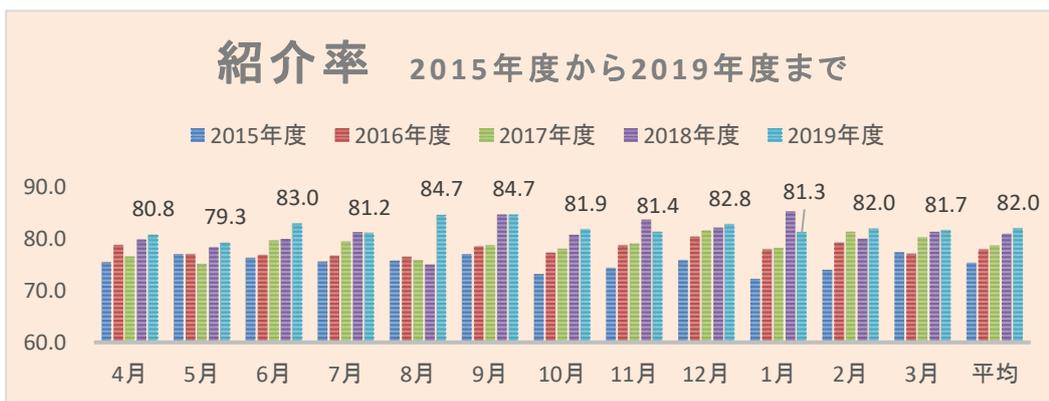
紹介率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2015年度	75.5	77.1	76.4	75.6	75.8	77.1	73.2	74.4	75.9	72.3	74.0	77.4	75.4
2016年度	78.8	77.0	76.8	76.7	76.5	78.5	77.3	78.7	80.4	77.9	79.2	77.1	77.9
2017年度	76.6	75.2	79.7	79.5	75.9	78.8	78.1	79.1	81.6	78.2	81.4	80.3	78.7
2018年度	79.9	78.4	80.0	81.3	75.1	84.7	80.8	83.7	82.2	85.3	80.1	81.4	81.0
2019年度	80.8	79.3	83.0	81.2	84.7	84.7	81.9	81.4	82.8	81.3	82.0	81.7	82.0

医科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2018年度	80.6	79.4	81.3	83.3	76.8	86.3	82.7	85.0	83.8	86.8	82.8	83.2	82.6
2019年度	82.45	81.6	86.1	83.0	86.3	85.9	84.1	82.5	84.1	82.9	82.7	83.1	83.7
歯科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2018年度	73.77	69.4	69.5	61.3	63.1	71.0	65.5	72.5	69.4	72.3	62.2	72.0	68.4
2019年度	68.72	63.8	62.7	66.5	72.8	75.3	64.5	73.4	73.6	69.0	76.8	71.4	69.5

紹介率 = {紹介患者数 ÷ 初診患者数(時間内)} × 100

紹介患者数 = 書面による紹介患者数 + 救急車搬入患者数

医療法
上における
特定機能
病院の
紹介率は
年間50%
以上



逆紹介率	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2015年度	48.0	41.9	39.2	44.3	46.8	46.5	43.7	50.7	51.3	49.9	50.3	52.3	47.0
2016年度	53.2	51.5	51.0	48.5	53.0	47.9	50.0	52.0	61.0	50.1	51.3	62.2	52.6
2017年度	55.3	51.2	49.0	53.8	45.0	53.5	50.3	50.5	58.4	46.8	55.8	63.6	52.8
2018年度	58.9	48.5	51.5	53.7	54.4	59.8	56.3	61.0	72.7	62.6	69.1	72.9	59.9
2019年度	62.2	66.1	65.8	59.0	70.3	69.9	69.1	77.1	86.1	67.8	82.3	84.1	71.1

医科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2018年度	60.49	50.7	53.7	55.5	56.1	61.7	58.4	63.4	77.1	65.7	75.7	79.6	62.9
2019年度	67.39	71.1	71.9	62.3	73.8	74.2	71.7	81.2	92.1	71.8	87.5	88.9	75.5
歯科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2018年度	22.58	17.7	24.2	19.8	30.8	39.1	27.8	13.4	34.0	28.8	31.3	37.8	26.8
2019年度	24.02	33.3	26.9	32.4	45.0	35.6	48.8	46.8	42.9	37.2	45.1	50.6	38.6

逆紹介率 = {逆紹介患者数 ÷ 初診患者数(時間内)} × 100

逆紹介患者数 = 診療情報提供料算定数

医療法
上における
特定機能
病院の
逆紹介率は
年間
40%以上



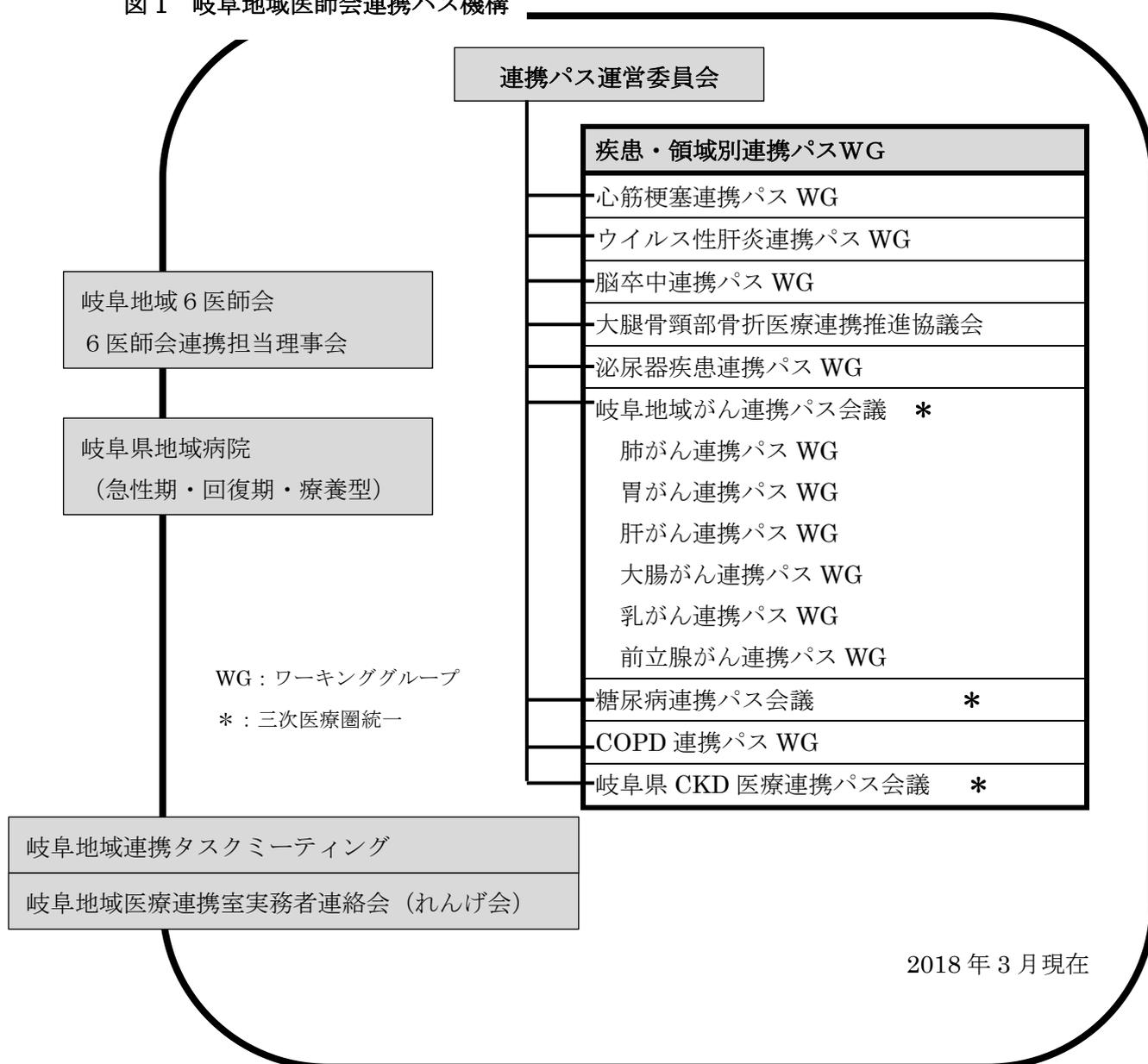
3. 地域連携パス

岐阜地域医師会連携パス機構（図1）

岐阜地域では、平成18年8月から地域内統一の連携パスの運用が開始され、地域内の様々な領域の医療者の参加を得て徐々に広がり、岐阜地域医師会連携パス機構が設立された。

また、岐阜地域の44医療機関（岐阜地域34・近隣10）と3組織が連携ネットワークに参加している（図2）。

図1 岐阜地域医師会連携パス機構



岐阜地域医療連携室実務者連絡会(れんげ会)参加医療機関・組織

(44 医療機関 (岐阜地域 34・近隣 10) ・3 組織)

-
- | | |
|------------------|---------------------------------|
| ・ 岐阜県総合医療センター | ・ フェニックス総合クリニック、フェニックス在宅支援クリニック |
| ・ 岐阜市民病院 | ・ みどり病院 |
| ・ 岐阜赤十字病院 | ・ 岐阜ハートセンター |
| ・ 村上記念病院→朝日大学病院 | ・ 関谷内科外科病院 |
| ・ 平野総合病院 | ・ 千手堂病院 |
| ・ 澤田病院 | ・ 操外科病院 |
| ・ 独立行政法人長良医療センター | ・ 大橋整形外科病院 |
| ・ 岩砂病院・岩砂マタニティ | ・ 松岡整形外科・内科リハビリテーション |
| ・ 山内ホスピタル | ・ 各務原リハビリテーション病院 |
| ・ 岐阜大学医学部附属病院 | ・ 社団法人岐阜病院 |
| ・ 羽島市民病院 | ・ 関中央病院 |
| ・ 松波総合病院 | ・ 中濃厚生病院 |
| ・ 山田病院 | ・ 郡上市民病院 |
| ・ 近石病院 | ・ 大垣徳洲会病院 |
| ・ 岐阜中央病院→岐阜清流病院 | ・ 尾西記念病院 |
| ・ 河村病院 | ・ 上林記念病院 |
| ・ 岐北厚生病院 | ・ 海津市医師会病院 |
| ・ 東海中央病院 | ・ 大雄会病院 |
| ・ 加納渡辺病院 | ・ 揖斐厚生病院 |
| ・ 愛生病院 | ・ 国保白鳥病院 |
| ・ 笠松病院 | ・ 岐阜市薬剤師会 |
| ・ 早徳病院 | ・ 岐阜市歯科医師会 |
| ・ 城南病院 | ・ 岐阜市医師会 |
| ・ 安江病院 | |
- 2018 年 3 月現在
-

図 2 連携ネットワーク参加医療機関名

5) 参考資料 地域連携パス集計

(2020/3/31現在)

		全数	運用中数	今年度 (R元年度) 発行数	前年度 (H30年度) 発行数	運用施設数 (今年度発行数順)
県内統一	胃がん	246	117	21	28	14 (3)
	大腸がん	458	238	42	73	14 (3)
	肺がん	34	12	0	6	14 (6)
	乳がん	444	357	84	56	14 (3)
	肝がん	10	1	0	0	14 (4)
	前立腺がん	16	16	15	0	14 (2)
	緩和ケア	23	1	2	1	14 (2)
	小計	1231	742	164	164	
岐阜地域医師会	肝炎	10	0	0	0	
	脳卒中	676	90	90	80	
	CRG-Net	60	38	16	9	
	COPD	9	2	0	0	
	PSA	3	3	0	0	
	小計	758	133	106	89	
県医師会	糖尿病	120	50	11	8	12 (1)
	CKD	8	3	0	0	
	小計	128	53	11	8	
合計		2117	928	281	261	

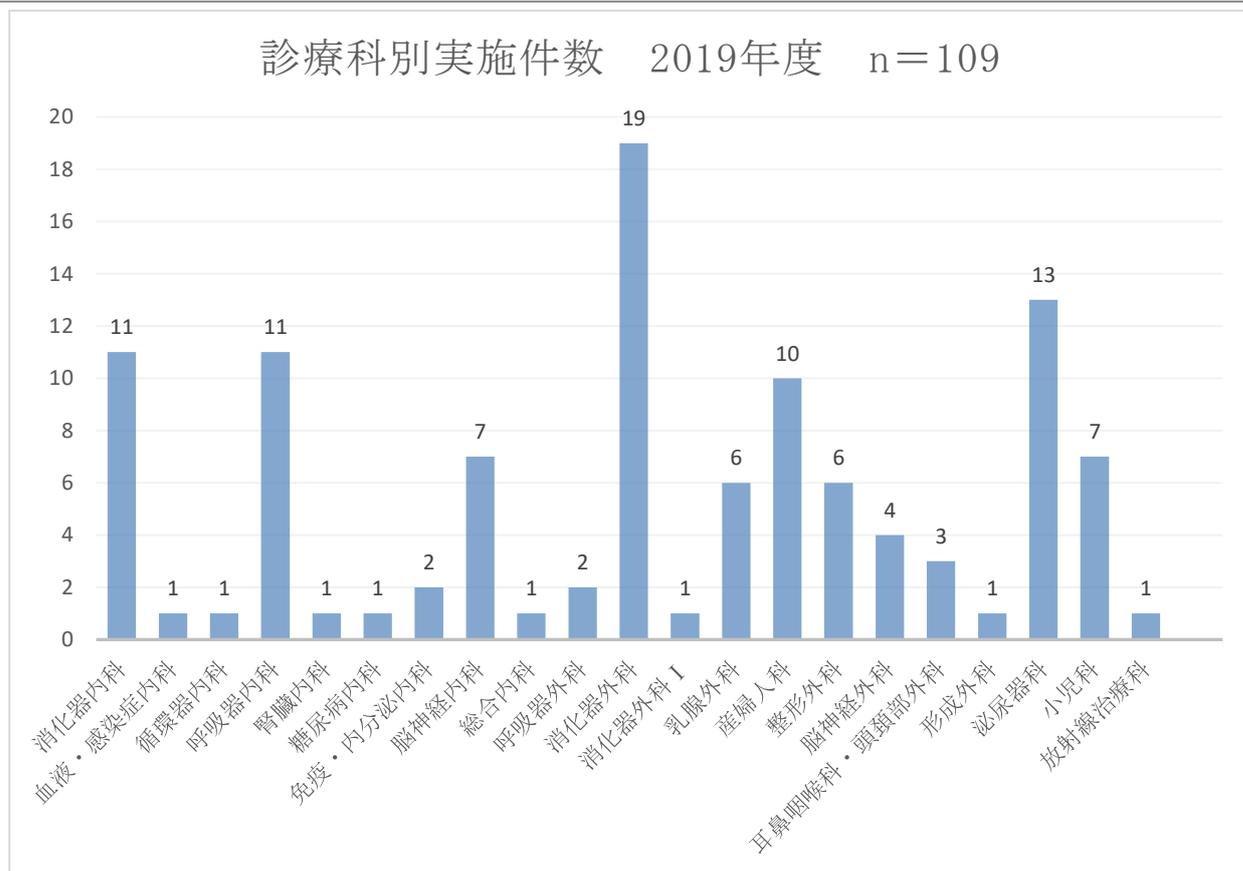
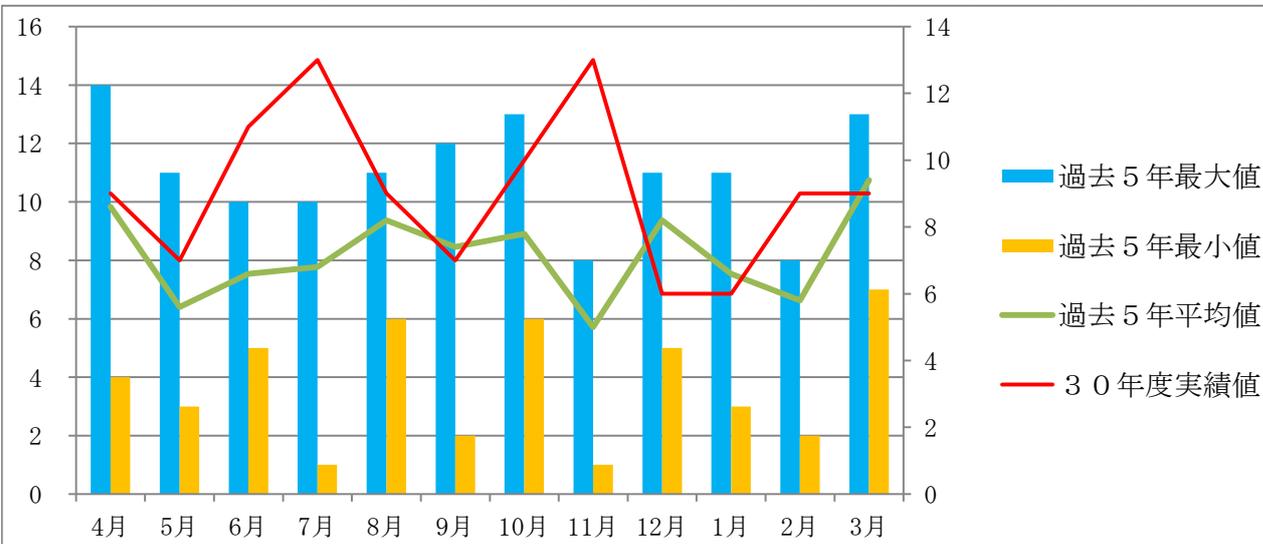
【補足】

- ・全数…各パス開始時から現在までのパス発行数
- ・運用中数…現在、当院で運用中の数

-  …前年度より発行が増えたパス
-  …前年度より発行が減ったパス

5) 参考資料 本院へのセカンドオピニオン実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2014年度	10	11	6	5	11	12	7	1	6	5	5	7	86
2015年度	7	5	6	10	6	8	6	4	10	6	8	7	83
2016年度	4	5	6	8	9	9	6	5	5	11	2	12	82
2017年度	8	4	5	10	8	6	7	7	9	3	7	8	82
2018年度	14	3	10	1	7	2	13	8	11	8	7	13	97
2019年度	9	7	11	13	9	7	10	13	6	6	9	9	109



第3章 会議報告

1) 医療連携センター運営委員会

令和元年度 第1回医療連携センター運営委員会

1. 開催日：令和2年3月9日（月）14：00～

2. 開催場所：多目的ホール（病院1階）

3. 議題：

- 報告事項
- 1) 岐阜地域医療連携パスについて
 - 2) 入退院支援加算等の算定実績について
他大学の算定状況
 - 3) 「診療のご案内2019」の作成・配付報告
 - 4) Webカルテシステム「みなもネット」利用状況
 - 5) 令和元年度医療連携センター活動報告
 - 6) アライアンスパートナーズ医療機能連携協定締結病院
訪問・面談実績報告
 - 7) 病診連携登録機関制度の登録状況
 - 8) 医療連携センターホームページのリニューアル報告
 - 9) 医療連携センター 広報誌配付報告

協議事項

- 1) 病院運営マニュアルの追加について
・社会的課題のある患者対応マニュアル（新規）

連絡事項

- 1) 岐阜地域医療連携講演会の開催について
- 2) 令和2年度 医療連携センター員の配置について

次回 2021年3月8日（月）14：00～ 多目的ホール

令和元年度第1回医療連携センター運営委員会議事録

日 時：令和2年3月9日（月）14時から14時45分
場 所：多目的ホール（病院1階）
出席者：清水委員長、堀川副委員長、田中委員、山口委員、野久委員、岡田委員、森委員、熊田委員、西村委員、安田委員、安藤委員、斎藤委員（代 服部）
欠席者：林委員、荒木委員、武藤委員
オブザーバー：深尾副看護部長、廣瀬、堀田、日比野、斎藤、小林、仲野、山本、多田、水向、安東、野口、山本（祐）、山内、服部

前回議事録（平成30年度第1回）を確認した。

報告事項

- 1) 岐阜地域医療連携パスについて（資料1） 中野
 - ・各種の発行数について全数、運用中数、今年度発行数について報告があり、前年度との比較、運用施設数での本院が今年度の発行した件数順位について補足説明があった。ほかに、糖尿業のバリエーション分析が他施設を含めて報告があり岐阜大学の特徴としてはかかりつけ医に必ず返し病院で取り込んでいない。
- 2) 入退院支援加算等の算定実績について（資料2） 服部
 - ・昨年度からの月別算定状況報告があった。また資料2-1にて他大学の算定状況と比較し本院は上位1/3集団で頑張っている。算定要件にある他施設との連携実績が無ければ算定しない運用で個別指導でも指摘はなかった。今後も安全で確実な算定を続けていく旨の報告があった。
- 3) 「診療のご案内2019」の作成・配付報告（資料3） 服部
 - ・今年度の作成と配付の終了について報告があった。次年度も発刊予定。
- 4) Webカルテシステム「みなもネット」利用状況（資料4） 服部
 - ・利用施設と利用者数についての報告があった。申し込みが増加するのは、『診療のご案内』を配付した際のチラシで効果があることがグラフからも読み取れる。また、同じ施設で今年度の閲覧同意者数が増えており継続して活用されている旨の報告があった。
- 5) 令和元年度医療連携センター活動報告（資料5） 堀川
 - ・今年度の活動について岐阜地域医療連携講演会、研修会、医療連携週間、情報交換会の要望事項への取り組みなどの報告があった。
- 6) アライアンスパートナーズ医療機能連携協定締結病院訪問・面談実績報告（資料6） 服部
 - ・入退院支援加算1の施設基準の要件である面談・訪問について必要な実績数は満たしている旨の報告があった。ただ、遠方の医療機関では最低必要回数であることから今後は連携が深められるように改善していきたい。また、訪問時の情報交換内容は記録が必要であり、都度まとめている。今後は退院支援に必要な項目を検討し情報共有できる形式を検討していく予定。

- 7) 病診連携登録機関制度の登録状況（資料7） 齋藤
 - ・3月時点の登録件数 272 医療機関と病院広報誌『鶴舟』2月号に掲載したことの報告があった。
- 8) 医療連携センターホームページのリニューアル報告（資料8） 服部
 - ・デザインが10年以上前に作られており、スマートフォンからも参照しやすいデザインへ変更した。また、アドレスも公式のアドレスと異なりサーバーが違うので総務課から病院公式アドレスと統一するように依頼があり、ほかの要望を含めて作業を進めていた。今年度の4月1日から公開しており問題等はありません。
- 9) 医療連携センター 広報誌配付報告（資料9） 服部
 - ・新たな広報誌を今年度から4回発刊した。連携の実績がある医療機関へ送付しており件数も増えている。次年度以降も継続するので診療科への協力をお願いした。

協議事項

- 1) 病院運営マニュアルの追加について
 - ・社会的課題のある患者対応マニュアル（新規）（資料10） 多田
 - 作成の経緯と作成ワーキングの開催状況報告があった。案については、いくつかの確認が必要な箇所があるが概ねの案として協議をお願いしたい。了承後は病院電子カルテからも参照できるよう医療情報へ依頼する予定。
 - このことについて熊田委員より現場で若い医師が対応に困ることもあり作成してもらえて感謝している。実際に活用する場面は長期の休みで事務やMSWの不在時が想定される。まだ数か所は見直しが必要なので協力していく旨の発言があった。

連絡事項

- 1) 岐阜地域医療連携講演会の開催について（資料11） 服部
 - ・連絡事項で議題としたが、開催について協議をお願いしたい。岐阜大学 2/27 付連絡では学内外、イベント等は中止、延期又は規模を縮小するように通知されている。岐阜市は同日開催の岐阜まつりの中止を決定している。本会の趣旨目的が地域連携であり交流の場であることから感染拡大防止の観点から延期が決定された。この結果について 3/12 に開催される病院運営会議に報告し最終判断を行うこととした。
- 2) 令和2年度 医療連携センター員の配置について（資料12） 服部
 - ・次年度の委員，オブザーバーについて変更，追加があればご連絡ください。
 - ・薬剤部と放射線部の変更

次回 2021年3月8日（月）14：00 ～ 多目的ホール

2) 岐阜大学医学部附属病院地域医療連携等情報交換会

岐阜大学医学部附属病院地域医療連携等情報交換会

日 時 令和元年11月25日(月) 14時30分～15時30分

場 所 岐阜大学医学部附属病院1階 多目的ホール(岐阜市柳戸1番1)

会 議 次 第

1. 開会
2. 病院長挨拶
3. 岐阜大学医学部附属病院の地域医療連携等の現況について
 - ① 岐阜大学医学部附属病院の将来ビジョンについて【病院長】 資料1
 - ② 医療連携センターの活動状況について【医療連携センター】
 - 活動報告 資料2
 - 統計資料 資料3
 - ③ 前回議事録 資料4
4. 意見交換
5. その他
6. 閉会挨拶

令和元年度岐阜大学医学部附属病院地域医療連携等情報交換会議事録

日 時 令和元年11月25日(月) 14時30分～15時30分
会 場 岐阜大学医学部附属病院1階 多目的ホール
出席者 磯貝(岐阜県医師会 常務理事), 広瀬(岐阜市医師会 会長), 松波(羽
島郡医師会 会長), 国枝(もとす医師会 会長), 鳥澤(山県医師会 会
長), 服部(近石病院 地域医療連携室・医療福祉相談室 課長), 伊藤
(美濃市立美濃病院 看護局長), 赤池(岐阜県訪問看護ステーション連
絡協議会 理事), 西垣(黒野自治会 会長),
(院内 ※敬称略)
吉田, 森重, 森田, 廣瀬, 清水, 堀川
オブザーバー:
安藤, 柘植, 坪井, 太田, 齋藤
事務局
梅田, 服部, 堀江, 中野, 山本, 多田, 水向

1. 開会
2. 病院長挨拶
3. 岐阜大学医学部附属病院の地域医療連携等の現況について

(吉田) 資料1の説明(昨年度のご意見についての取り組みのみを記載)

昨年度のご意見で大学病院, 特定機能病院であることの立ち位置とビジョンを明確にして欲しい。について大きな目標である標準治療を創生する病院として今年度3つの成果をご報告いたします。第3内科 教授 矢部 大介先生より, 保健指導における「食べる順番」に重点をおいた食事指導の有効性を証明されました。脳神経内科 教授 下畑 享良先生より, 治療困難である脳梗塞に対する「抹消血単核球を用いた新しい細胞療法」の開発をされました。今後, 新しい治療の開発は, 最終的には標準治療の確立, 誰もが最新の治療を受けることができる。我々医療従事者はガイドラインを塗り変えることが大きな目標の一つであります。ですから, これらの治療は今後つながることになります。3つ目ですが, 消化器外科 教授 吉田 和弘より, 胃癌(Stage III)の新たな治療を開発し, 胃癌治療のガイドラインを更新し, 岐阜大学から大きな成果を上げることができました。

(堀川) 資料2の説明(昨年度のご意見についての取り組みのみを記載)

昨年度ご意見をいただきました項目について, この1年間の取り組みについてご説明します。

まず1つ目, 医療連携センターのスタッフが地域との連携を進めてほしい。については, 大学病院では入院センターを設置し, 退院に向けての動きを早期から支援しています。診療報酬における施設基準では, 昨年11月に入退院支援加算の2から1へ上位の施設基準を取得し算定状況は250件程度です。昨年度の全国国立大学病院 退院調整部門の協議会に

においても算定実績は3位でした。なかでも、退院時共同指導料加算は点数も高い分、他施設との連携が必要となります。退院支援の質が求められる項目ですが、こちらは7位でした。このように全国の国立大学病院でも、そこそこ頑張っている状況ではないでしょうか。

次に2つ目のご意見ですが、大学病院はなぜ逆紹介率が他の病院と違うのか。についての取り組みの1つ目ですが、大学病院は決して患者さんを取り込んでいる訳ではない。改めてご説明しますと特定機能病院は紹介率50%、逆紹介率40%以上となっており、資料には大学病院の現状の数値と東海北陸厚生局管内にある特定機能病院の昨年度の実績を掲載しております。また、逆紹介率の計算については、診療情報提供書を作成した逆紹介患者数割る初診患者数だけではなく、電子カルテの記載内容から紹介元医療機関へ返した数値も分析していますので、そういったことにも目を配りながら進めております。取り組みの2つ目ですが、逆説的な説明になりますが、入院前の退院支援として入院前に患者さんの社会的背景を捉えることが入院センターの役割であり、早期の転院・退院調整に繋がります。そのためには、かかりつけ医や介護状況を確認しケアマネ等に連絡することを意識しています。そういった「かかりつけ医」を持つことを患者さんに引き続きご理解いただくためにも、取り組みの3つ目になりますが、かかりつけ医と本院の役割分担について院内にポスターを掲示し啓蒙活動をしています。さらに取り組みの4つ目ですが、本院の電子カルテにアライアンスパートナーズ協定締結病院、病診連携登録機関の医療機関が一目でわかる表示を追加し、患者さんの紹介元医療機関をわかりやすくする仕組みにしました。患者さんのご事情もあるかもしれませんが、本院は原則として紹介元の医療機関へ返すという啓蒙をしております。

最後の3つ目のご意見ですが、診療所の夕診で大学病院へ紹介する際に17時で医療連携センターの受付が終了しているの、開業医に合わせて19時まで延長をお願いしたい。についてですが、本院の経緯をお伝えしますと平成21年1月までは平日19時まで診療予約受付を実施し、職員が残業で対応していました。しかし受付件数が1日平均1件と少ないことから17時までに時間を短縮しております。昨年度のご要望について、現状を調査した結果を円グラフでお示ししています。平日17時台、18時台の受付状況ですが、やはり1日1件から2件程度ということがわかりました。それと比べて土日祝の受付件数をみると土曜日の午前中の受付をするほうが効率としては良いのではないかと今回の分析の結果であります。これに関し自動予約受付システムの導入を検討するのか、現在の受付方法で実施するのか、今いる人で働き方改革も勘案しながら配置するのか、新たに雇用するのかを大学では検討中であります。

以上が、前回のご意見とご要望について、我々の活動状況の報告となります。いずれにしましても、病院長が目指す将来ビジョンを実現するためにも我々、医療連携センタースタッフは外向けの窓口としての機能充実を進めております。

(吉田) 資料3の説明(昨年度のご意見についての取り組みのみを記載)

資料3の逆紹介患者数及び逆紹介率のグラフをご参照ください。昨年、この会議が開催されたのは11月末です。昨年の12月の統計をみていただきますとわかるように、12月を境に実績が急に上がっています。これは、この会議のおかげで院内関係部署の意識が高く

なった成果です。今も持続できるように努力しているところですが、これ以上は上がらないのには理由がありまして、院内で精査した結果ですが、紹介元の医療機関へ全部返しているのに数字が低いのは、何故だろうと。逆紹介の計算式に入らない事例として、未だに手書きで作成していた、規定の様式で記載されていなかった、感染症で紹介を受け、治癒した後に紹介元へ返していなかった。引き続き貴院でのフォローアップをお願いします。という文書が抜けていた事などがあります。これらを改善した結果、逆紹介率が上がりました。それ以外に昨年度もお伝えしましたが、例えば産科ですと、がん患者さんは大学病院で治療を継続してほしいという紹介元医療機関の要望もあります。ほかに血液内科なども同様です。言い訳かもしれませんが、100%にはなりません。

次に診療科別ですが、例えば消化器内科に紹介があり、手術が必要で消化器外科へ転科されますと、逆紹介は消化器外科から紹介元へお返しすることになりますので、2 診療科を足すと全部返しているのご理解いただけるとと思います。是非、医師会の先生方からも、大学病院はちゃんと患者さんを返しているとお伝えいただければと思います。

以上が、今年度の病院の取り組みと前回からのアップデートになります。

4. (吉田) 前回議事録の確認

5. 意見交換について

(吉田)

ここからは意見交換の時間となります。みなさま、ご質問、ご意見等ございましたら、席順にお伺いしますので、お願いできますでしょうか。

(磯貝：岐阜県医師会)

一つだけお願いしたいことがございます。いわゆる転科の報告についてですが、紹介した患者さんがどこに行ったかわからなくなる事例の理由として転科が多いので、院内で気を配っていただけたら、ありがたいです。

(吉田)

ありがとうございます。返書で「来院しました」という報告だけではなく、例えば「来院されました。〇〇により△△のため、××科へ転科します。△△の結果については、後ほどご報告いたします。」と記載すれば行方がわからなくなることは無いので、若い医師だと「来院しました」の報告だけということもあるので、ご指摘いただきましたことについて、周知徹底し指導します。

(広瀬：岐阜市医師会)

昨年と同様のお願いになりますが、逆紹介率については非常に良くやっけていただいている。私個人としては紹介状も詳細に記載した内容を都度、報告してもらっています。ですので、やっていないというよりは、良くやっけていただいていると私は評価をしています。ただ、先ほどのご意見にもありましたように、大規模な病院ですと転科だとか、複数の診療科を受診されている場合がある。そのような患者さんの場合は、どこの科でどうなっているのかは電子カルテでトレースできる機能はあるので、「このような状況です」という報告を入院時、退院時、大きな治療時、手術とかに我々に報告を入れてもらえると、今の治療状況がわかり満足します。なぜかと申しますと、患者家族から尋ねられることがある

からで、紹介医師が知らない、あれ？大学と連携されていないのかな。と思われてしまいます。かかりつけ医だと、患者家族が受診することもあり、家族状況を確認すると今、大学に入院しています。ということもある。医師が全部の返信を書くのは働き方改革に反するので、こういうことは事務のほうで検討をしてもらい、医師は本来の治療に専念できるようにお願いしたい。

(吉田)

ありがとうございます。今のご指摘は大変重要な点だと思います。わたくし共では退院時、退院する瞬間に、まずは開業医さんへ連絡します。ご意見は重々検討させていただきます。

また、電子カルテを共有する意味でも、是非「ミナモねっと」をご利用いただければと思います。このシステムでは紹介いただいた患者さんのカルテを閲覧することができます。設定作業はご希望があれば、医療機関へ個別訪問しますので、是非ともご活用ください。またご利用された時のご意見もいただければ励みになります。どうでしょう、医師会のみなさまに「ミナモねっと」のアナウンスをさせていただいてもよろしいでしょうか。

(磯貝：岐阜県医師会)

県医師会でも情報を共有する意味で助かります。

(吉田)

では、県医師会のご協力をお願いします。

(松波：羽島郡医師会)

岐阜県内で唯一の特定機能病院として、本日の院外出席者が岐阜地域だけで、西濃など他の地域が含まれていないのかという疑問があります。地域医療支援病院とは違いますから、特定機能病院は岐阜医療圏に目を向け活動するだけでなく、岐阜県全体の医療圏に目を向けてもらいたい。せっかく大学に叡智が集まり、新規の高度な医療を提供している組織があるわけですから、この成果を将来の県全体に対しても考えていただきたいと個人的には考えています。

次に一つ気になる点ですが先ほどの資料1ですが、昨年度の資料では「来て良かった」と患者さんに思ってもらえる病院が今回は、働き方改革に代わっていますが意味があるのでしょうか。

(吉田)

この項目は、安心・安全で最高の患者サービスを患者さんに届ける最高の病院の確立に含まれています。

(松波：羽島郡医師会)

働き方改革は大切なことですが、大学病院の中だけで医師の改善を強化されると地方の医師派遣に影響がでます。大学病院の立場だけで考えられると県、地域にネガティブなイメージが出ることはよろしくないことをご配慮し進めていただきたい。

(吉田)

ありがとうございます。極めて重要なご意見です。特に大学病院の医師は通常診療のほか教育と研究をしなくてはなりません。さらに、医師が不足する地域病院への外勤についても地域医療が崩壊してしまいますので、県全体で考えていきたいと思えます。

(国枝：本巣医師会)

大学病院には沢山の医師がいますが、業務も多い。その中で、紹介・逆紹介を良くやっ
ていただいている。本巢医師会で逆紹介の不満やご意見は最近ありません。大変ありがた
いと思っております。

先ほどの病院長の資料にありました複数主治医制についてお尋ねします。我々医師会でも
大学病院とはレベルが違いますが、医師会でも複数の医師で患者さんを診てはどうかと
の意見が度々でてまいります。大学病院では具体的にどのように診療の決定をされている
のでしょうか、また情報共有は主治医以外の先生方はどのようにされているのでしょうか。
(吉田)

ありがとうございます。主治医に連絡が取れない。誰に相談したらよいのか。というこ
とが昔はありましたが、今は疾患別チームで診させていただいております。例えば大腸が
んの患者さんですと大腸チームは7から8名の外科医で主治医は決まっていますが、チ
ームのほかに週3回教授を含めた回診、チームでの朝晩毎日の回診をしています。外科はこ
んなところですが、内科、婦人科も同様でしょうか。

(森重)

外科ほどの人数はいませんが、少なくとも一人の患者さんに対して主に担当する医師に
加えて、2名を加えた最低3名で診ています。もし、1名が出張等で不在になっても常に情
報は共有していますし、外からの問い合わせについても、チームで対応しています。

(鳥澤：山県医師会)

紹介状の件ですが、わたくしどものところだと例えば内科から外科へ転科した患者さ
んの紹介状は外科から、手術の経過を記載された内容で報告をいただいています。また、
こちらから婦人科か診療科を迷いながら、小児科へ紹介した患者さんについても婦人科
へ転科し、その後は手術の経過をいただいた事例がありました。

ただ大学病院だけの問題ではないのですが、例えば近隣の病院へ紹介した患者さんが、
転院し大学病院へ入院していた場合、紹介元に連絡がこないということがあります。この
ような連携が途中で切れるかなと思います。

ほかに大きな病院だとスタッフも多く顔の見える関係の構築は難しいですが、年に1回
岐阜地域医療連携講演会やセミナーを開催されていますが、それだけでは少し足りない
と思っています。我々参加する側も開業医がもっと参加してくれればと思っていますが、以
前は基幹病院と地域医師会で講演会を開催していましたが、今はいろいろと難しく方法を
考えていかなくてはと思っています。

複数主治医制については、在宅でも同様のことが言われるが、なかなか上手くいかない。
医療機関が別々で診療報酬など問題があるが、大学病院の中はそういう問題は無いので進
めやすいのではないかと思います。

ミナモねっとについては、個人差が大きいと思いますが入院中の患者さんに関して知り
たい医師と病院にお任せしているという医師がいます。わたし個人としては、退院報告が
届きますので入院中はお任せし、データを依頼することはありませんが、入院報告はいた
だきたいと思います。

(吉田)

ありがとうございました。入院報告は是非とも推進していきたいと思います。今後は電
子カルテもAI技術で進化していくと思います。県医師会でも各医師会に「ミナモねっと」

の接続設定等の案内についてご協力をお願いします。

ほかに時間外の診療予約受付時間の件以外にも、主要な疾患について例えば脳卒中や心疾患等、開業医の先生がお困りの状況に対応できるよう 24 時間、疾患別の当直医師が対応するホットラインを作ろうということを検討しています。そこで、当直医と次回の診療予約を相談してもらい、救急外来だとその場で断られてしまう場合もあるかと思いますが、このようなホットラインを土日に作ろうかとすすめておりますので、またご相談させてください。では、次に連携でお世話になっております近石病院さんをお願いします。

(服部：近石病院)

大学病院の医療連携センターとは良い連携をさせていただいております。先生方のお話にもありましたように、本院では大学病院から退院された患者さんが、地域の先生方のところへ戻る前に、一時的に入院される後方支援を担っております。以前の転院調整では「かかりつけ医」の表記が無かったが、最近は貴院のソーシャルワーカーも大変心得ていて、かかりつけ医と退院時の状況について情報をいただくようになりました。医師会のみなさまからのご意見もありましたので、本院の状況に大学病院での情報を加えてかかりつけ医へ報告させていただいております。ほかに大学病院ではケアマネ、介護サービスの利用状況についても聞き取りをされていて、後方支援病院での退院支援で活用させていただいております。

また、大学病院へ患者さんを紹介する際に複数の疾患がある場合に、どの診療科を紹介したらよいのか迷うことがある。その場合には、医療連携センターの安藤師長さんに相談しているが、先日の事例は総合内科の先生に相談したが、忙しいので午後連絡するとのことのお返事で、午後に相談したら、それは循環器内科でしょうとのことのお返事でした。待てない状況でしたので、高次救急のほうへお願いしたことがありました。患者さんの命もありますので、どこに連絡をしたら良いのか、一つ窓口があると助かります。たまたま、安藤師長さんがお休みの時でしたので、困ったことがありました。頼りにしていますのでお願いします。

(吉田)

ありがとうございました。極めて重要なご意見をいただきました。先ほどのお話にもありましたように、一旦間を挟んだ入院のやりとりについても周知徹底していきたいと思えます。それから、複数の症状がある患者さんの紹介についての相談窓口も検討したいと思えます。

(伊藤：美濃病院)

当院の地域は高齢者が多いことから、夜間になると対応ができないという場合には「かかりつけ医」という機能も持ちながら関わらせていただいております。最近の事例ですと ALS の患者さんに訪問看護ステーションを使いながら、大学との併診をしています。今後も美濃・中濃地区の「かかりつけ医」との間、大学病院と間で連携していきたいと思えます。

(吉田)

ありがとうございます。極めて重要な役割を担っているとおもいますので、引き続きよろしくをお願いします。

(赤池：岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会)

前回にも報告しました，退院支援のことですが先生，看護師，その他の方々には時間がない中で，積極的に進めていただいています。安藤師長さんからも地域の方とも連携しているという報告もお伺いしています。昨年からは，大変頑張ってやっけていただいている。訪問看護ステーションでも開業医の先生方の助けになるように，病院の先生方と連携をとりながらすすめていけたらと思っておりますので，今後ともよろしくお願ひします。

(吉田)

ありがとうございます。非常に元気になるご意見です。我々病院でも患者さんからご意見をいただくのですが，褒めていただいた言葉も報告し，職員と共有することでモチベーションを上げるようにしています。ありがとうございます。

(西垣：黒野自治会)

病院との関わりは自治会ではありませんが，自治会の行事へ看護学科の学生さんに参加してもらい交流している。次年度もこのようなイベントで交流を続けていきたいので，ご協力をお願いします。

(吉田)

ありがとうございます。病院としても駐車場の問題など地域のみなさまにご迷惑をおかけしていないかと常に心配しておりますので，何かありましたらおっしゃってください。

今回ご用意した資料は以上になりますが，よろしいでしょうか。

(赤池：岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会)

訪問看護サポートセンターのご案内です。こちらは訪問看護師のほかに病院の関係者の方が訪問看護について，わからないことなどの相談や問い合わせ先を広報させていただきました。是非，ご活用ください。

5. その他

(鳥澤：山県医師会)

今回の会議とは関係ありませんが，わたしからのお願いです。岐阜県医師会では生涯教育と介護保険を担当しています。数年に1回ですが，大学病院を会場にした介護保険の研修会を岐阜県の委託事業で開催しています。医師の出席率が悪いので，是非とも研修医の先生，連携スタッフのみなさんにもご参加いただきますようお願い申し上げます。その他の研修もお願いします。なるべく早めにご案内します。

6. 閉会挨拶

(吉田)

本日は，みなさまより忌憚のないご意見をいただき誠にありがとうございました。先生方のクリニックが本院の外来であることに変わりはありませんので，引き継ぎどうぞよろしくお願ひします。

まとめ

1. 転院について，後方のアライアンス病院へお願ひしたり，ホスピスへ転院したりする場合に数年前まで遡って，紹介いただいた先生に報告できているか周知徹底すること。

2. 働き方改革を進める中で、複数主治医制により責任科が曖昧になり、地域の先生方や連携する病院へ迷惑をかけないようにすること。
3. ミナモねっのご案内（岐阜県医師会）
4. 他医療機関からの複数疾患患者さんの受診先診療科の問い合わせ対応
5. 時間外予約受付（土曜日実施するのか）

3) 国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会参加
日本医療連携研究会 - 国立大学部門 - 学術集会

九大院患第1号
平成31年4月8日

各国立大学病院長 殿

第16回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会

開催大学 九州大学病院

病院長 赤 司 浩 一 [公印省略]

第16回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会の開催について

標記について、令和元年度は本学を当番校として下記のとおり開催します。

つきましては、貴院の関連部署の職員(医師、看護師、医療ソーシャルワーカー及び事務)の出席に御配慮くださるようお願いいたします。

記

1. 名 称 第16回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会
2. 日 程 令和元年7月5日(金) 13:00~17:30(受付開始12:00)
7月6日(土) 9:00~12:15
3. 会 場 九州大学医学部 百年講堂(九州大学病院キャンパス内)
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号
4. 事務局 九州大学病院 医療連携センター センター長 水元一博
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号

【問合せ先】

九州大学病院 医療連携センター 橋本・児玉
TEL: 092-642-5165 (直通)
FAX: 092-642-5155
Email: bynirenkei@jimu.kyushu-u.ac.jp

第16回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会 及び 第6回日本医療連携研究会 日程表

別添3-1

7月5日(金)

7月6日(土)

	九大病院キャンパス 百年講堂			西鉄
	会議室	大ホール	交流ホール/中ホール	グランドホテル
9:00				
9:30				
10:00				
10:30				
11:00				
11:30				
12:00	幹事監事会	受付		
12:30		受付		
13:00		(10) 開会の辞		
13:30		連絡協議会議事報告		
14:00		基調講演 (文部科学省)		
14:30		(15) 休憩		
15:00		連絡協議会 アンケート報告		
15:30		(45) 地域医療PT報告		
16:00		(15) 休憩		
16:30		パネル ディスカッション (テーマ4)		
17:00		(20) 休憩/移動	ポスターセッション	
17:30		移動		
18:00		移動		
18:30				恒例懇親会
20:30				

	九大病院キャンパス 百年講堂			
	大ホール	中ホール1	中ホール2	中ホール3
9:00				
9:30	パネル ディスカッション (テーマ1)			
10:00	(50) パネル ディスカッション (テーマ2)			
10:30	(40) 休憩			
11:00	(55) パネル ディスカッション (テーマ3)			
11:30	(45) 協議会まとめ	※ロビーにて※ ランチタイム講演会・研究会 受付 (地域医療機関向け)		
12:00	(15) 次回開催挨拶/閉会			
12:30	休憩/受付			
13:00	ランチミーティング 「インフォームド・コ ンセントをめぐるあれ これ」	研究会・研究集会 ↓		
13:30	(15) 講演1 「『連携室の連携』の役 割と取組みー18年のあゆ みー」	一般演題		
14:00	(45) 休憩			
14:30	(15) 総会			
15:00	(50) 講演2 「これからの医師の働 き方を考える」			
15:30	(40) 講演3 「心不全の在宅医療： 急性期病院からの円滑 な移行に地域病院が担 う役割」			
16:00	(50) 休憩			
16:30	(50) 講演4 「多機関連携で子ども を守る～非行少年と虐 待～」			
17:00				



岐阜大学医学部附属病院 医療連携センター
 センター長 清水 雅仁, 副センター長 堀川 幸男, 看護師長 安藤 真由美
 看護師 米山 久恵, MSW 水向 美央, 事務 堀江 八千代

岐阜大学医学部附属病院の概要

病床数 一般 577床 標榜診療科数 33
 精神 37床 病棟数 15
 紹介率 81.0% (前年比+2.3)
 逆紹介率 59.9% (前年比+7.2)

特定機能病院入院基本料 (一般病棟) 7対1
 在宅看護学実習の受入
 医療連携センターの人員 25名
 兼任医師: 2名 常勤MSW: 7名
 看護師: 常勤 7名 非常勤 2名
 事務員: 常勤 2名 非常勤 5名



・平成30年8月から入院時支援加算 & 11月から入退院支援加算1 算定開始

医療連携センタースタッフ MSW 7名、看護師 9名 (看護師長・退院調整看護師 3名・入院センター看護師 4名)
 各病棟所属 病棟専任入退院支援看護師 (13名) を設置

1. 問題抽出と取組みの概要

- 問題**
その1: 病棟看護師は、患者の思いを把握できない 退院支援がすすめられない
その2: 病棟看護師は担当制に拘り、チームで支援する視点が少ない
その3: 病棟看護管理者の退院支援の視点により部署間の体制に差がある
その4: 退院調整部門の後継者育成ができていない



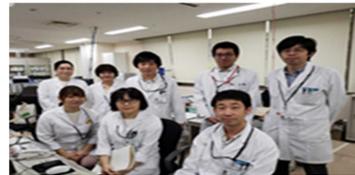
退院調整看護師

取組み

1. 病棟看護師対象の退院支援研修 (1年で4回コース) 5年間継続して企画 H30年度は病棟専任入退院支援看護師を選定
2. 退院後の生活を知ってもらうために訪問看護ステーション見学研修
3. OJTとしてカンファレンスの現場等での看護師の教育支援
4. 臨床看護 eラーニング の活用
5. 医療連携センターへ異動した退院調整看護師の教育支援

2018年4人から7人へ増員!!

医療ソーシャルワーカー



- 問題**
その1: 急性期病院でのMSW経験が少ない
その2: MSW教育プログラムがない
その3: 困難事例が多いが、相談できる経験年数豊富なMSWがいない
その4: 各部署関係者との信頼構築がなく、共同する仕組みがない

取組み

1. 退院調整看護師とパートナーシップを組んで病棟担当者としての業務調整
2. MSW経験が豊富なスーパーバイザーによる、教育計画・個別指導
3. 入退院支援加算1算定のためにコアメンバーで検討

毎月2回 MSWと看護師 (ワナー) の会議
 【入退院支援加算算定の問題の共有・解決策、困難事例を話し合う】

2. 具体的な取組みの成果

最優先課題! 入退院支援加算1算定システム構築!

退院調整看護師・MSW・事務職員が共同してシステム作り
 病棟関係者への紹介・共同作業できるよう調整

クリニカルフロー (入退院支援) の作成・導入
 退院困難患者の抽出、患者面談・カンファ検討の条件をクリア

入院時支援加算の状況 点数化 (高いと赤字) 退院支援計画書作成状況

病棟	診療科	入院日	退院日	支援開始日	支援終了日	支援期間 (日)	支援期間 (日)
内科	内科	2019/05/25	2019/05/28	2019/05/25	2019/05/28	3	3
内科	内科	2019/05/17	2019/05/21	2019/05/17	2019/05/21	4	4
内科	内科	2019/05/30	2019/06/03	2019/05/30	2019/06/03	4	4

病棟看護師が評価した退院困難要因 患者面談・カンファ実施状況



MSW採用直後でもクリニカルフローを活用して
 病棟看護師と退院困難患者抽出の検討が可能
 患者への早期介入・期間短縮で退院へ導く

スーパーバイザー (SV) によるソーシャルワーカーの研修

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

急性期病院の日常業務におけるソーシャルワークを身に付ける
 【1年間の継続的研修】実際の困難事例を課題とした指導や支援について
 経験豊富な外部スーパーバイザーによる毎月1～2回の個別指導

患者、家族等からの相談・支援等に対応できる知識を増やす事例経験を持った
 『急性期病院に求められるソーシャルワーカー』養成連携業務の体制強化を図る



- ・事例の振り返り、MSWとしての価値、専門性を再認識
- ・自身の課題や目指すべき方向性の明確化
- ・対応困難ケースを相談し、解決法を確立
- ・不安から自信を持つ対応への承認を受けた

実際の事例を元に個別検討し、業務に活かすことができ自信に繋がった

病棟専任入退院支援看護師を対象とした退院支援研修

1年間で4回の継続コース研修 (90分間毎)
 毎年20名以上の研修生が参加 eラーニング (退院支援等) を活用
 専任看護師のあるべき姿と、自部署の現状、問題の要因について グループワーク

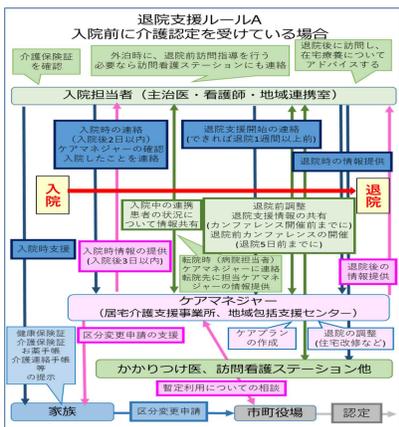


悩みの共有、モデル行動の伝授、具体的行動を検討し役割発揮

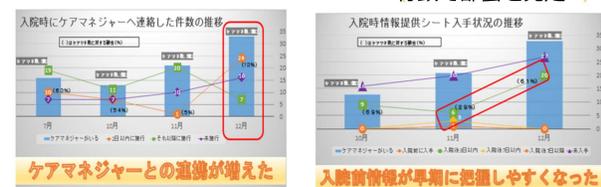
継続的支援が必要!! 4部署の病棟専任入退院支援看護師は、
 退院支援がスキルアップ、モデル行動にて成果が出た!
 【退院困難患者の抽出、スタッフ指導、カンファレンス時間短縮】

岐阜医療圏での退院支援ルール策定

岐阜医療圏 病院毎に異なる退院前カンファレンス
 在宅側の手順も統一されていない



連絡会議で退院支援ルール作成
 情報提供用紙の共通利用



入院早期からケアマネと連携が図れた!
 入院前情報用紙を把握できた!

3. 今後の課題と取組み

- 1) MSW・退院調整看護師・病棟専任入退院支援看護師等の医療者の教育プログラムを充実させる
- 2) 生活者の視点をもつ医療者を増やすように働きかける
- 3) 地域も巻き込んで患者の思いを重視した意思決定支援・退院支援プロセスを進める医療者を育成する

第4章 教育活動報告

1) 院外活動: 医療従事者対象『岐阜地域医療連携講演会』

(報告)

【目的】 大学病院の医療提供をご理解いただく医療機関向け情報提供の場□

- ➡ 地域医療従事者への研修(専門的医療等)＝医療圏のレベル向上 □
- ➡ 地域連携強化(前方後方連携) □



- ◎日 程 2019年4月6日(土)16:00～20:00
- 第1部 最新の医療現場での話題を中心とした講演会□
岐阜地域の医療連携を目的とした講演会□
 - 第2部 情報交換の場□
岐阜大学病院の診療科を医師会の皆様に紹介

◎参加者数 参加者 合計 119名 (前年 +17名)

	2019年度	2018年度	2017年度
合計	119	102	93
(内訳)			
院外	72	59	65
医師	43	43	40
看護師	12	10	15
栄養管理士	3		
理学療法士	2		
社会福祉士等	6	2	3
事務等	6	4	7
院内	47	43	28
医師	26	33	14
薬剤師	2		
看護師	7	3	7
臨床検査技師	1		
MSW	8	4	4
事務	3	3	3

- ◎参加施設
- アライアンス 10 施設／23施設
 - 病診連携登録機関制度 23 施設／209施設
 - 初参加医療機関 24 施設

参加医師会 岐阜県医師会 岐阜市医師会 各務原医師会 羽島郡医師会 羽島市医師会 もとす医師会 山県医師会□

(医師会のご意見) 参加者の皆様から頂いたご意見、ご要望は院内報告し、改善を見直しする際に役立っています。

- ・岐阜県医師会 : 今後ともよろしくお願ひします。
- ・岐阜市医師会 : 退院支援ルールは今後は目につくようになればよい。これからは多職種で支えていかないと医師だけでは本来の診療ができないのでこのルールに多くの方が参加してもらえるとありがたい。
- ・各務原医師会 : 各務原は地理的に東西に長く、医療圏が名古屋、東濃と広い。大学病院のロボット手術など情報を知ることができる良い機会でした。また、在宅の利用者が少ないので努力したいと思っています。
- ・羽島市医師会 : 大学病院の診療を知る貴重な会なので、今回は岐阜地域だけで仕切るのではなく、岐阜県下の全ての医師会に声掛けをしますます発展してもらいたい。大学病院は益々頑張って地域医療を超えた高度な医療をするべきです。会場の都合もあると思いますが頑張ってください。
- ・羽島郡医師会 : 大学病院の診療に関する宣伝が少ない。ネットを利用すれば良いのだろうが、紙で送ってもらいたい。ネットは年寄りにはみません。大学病院は羽島からは遠く、名古屋には近いという地理的なこともあり、岐阜駅でサテライト診療所を開設してもらえるとよい。本日は、いろいろな情報をありがとうございました。
- 本巣医師会 : 本巣医師会では自主的に大学の先生をおよびして講演会を開催している。今後ご協力をお願いします。
- 山県医師会 : 岐北厚生病院長の就任挨拶。

岐阜地域

医療連携

講演会

謹啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、このたび岐阜地域医療連携講演会を下記のとおり開催させていただきます。ご多忙のこととは存じますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

平成31年 4月6日 (土)

講演会の部

16:00 ~ 18:00

場所 OKBふれあい会館

大会議室 302号室

岐阜市藪田南5丁目14-53

情報交換会の部

18:10 ~ 20:00

場所 Kouzo Gifu 14F

参加無料

お申し込み必要

→裏面の申込用紙を

FAX 送信

共催

岐阜大学医師会

ノボ ルディスク ファーマ株式会社

後援

岐阜県医師会

岐阜市医師会

各務原市医師会

羽島市医師会

羽島郡医師会

もとす医師会

山県医師会

岐阜大学医学部附属病院

講演会の部

開会挨拶 岐阜県医師会 副会長 河合 直樹

講演

座長 医療連携センター センター長 清水 雅仁

『産婦人科4大柱 岐阜大学での近年の取り組み』 成育医療・女性科 臨床講師 志賀 友美

『岐阜大学におけるロボット手術最前線』 泌尿器科 臨床講師 中根 慶太

『小児糖尿病の現状と課題 ～よりよい成人期医療への移行を目指して～』

小児科 臨床講師 堀 友博

閉会挨拶 岐阜市医師会 会長 広瀬 洋

※本講習会は日本医師会生涯教育制度各0.5単位を取得できます。

10チーム医療, 65 排尿障害 (尿失禁, 排尿障害), 76 糖尿病)

情報交換会の部

総合同会 医療連携センター 副センター長 堀川 幸男

開会挨拶 岐阜大学医学部附属病院 病院長 吉田 和弘

診療科紹介 呼吸器内科 臨床教授 大野 康

乳腺外科 (2 外科) 臨床教授 二村 学

病理診断科 臨床教授 宮崎 龍彦

閉会挨拶 岐阜県医師会 常務理事 伊在井 みどり, 岐阜市医師会 会長 広瀬 洋,

各務原市医師会 会長 八木澤 芳生, 羽島市医師会 会長 田中 吉政,

羽島郡医師会 監事 平田 俊文, もとす医師会 理事 若園 明裕, 山県医師会 会長 鳥澤 英紀

2) 院内活動：病院職員対象 『医療連携センター研修』

医療連携センター研修会の開催について（案内）

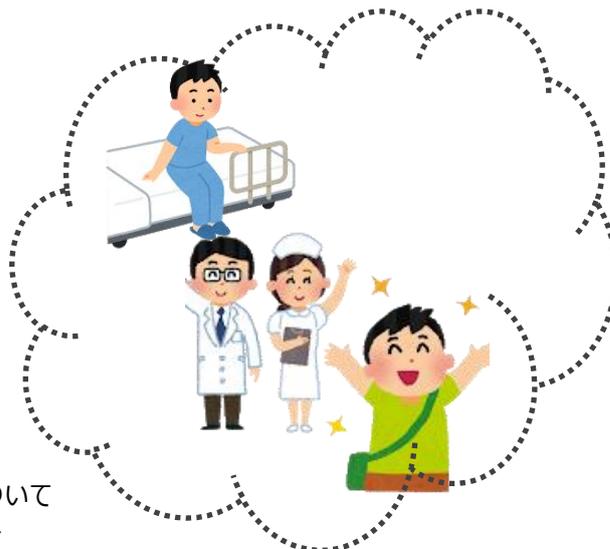
初夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は医療連携センターの運営について格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年度の研修会は、患者や家族のニーズに沿った退院支援を多職種チームで行えるようにお互いの役割、当院での入退院支援の流れを理解し、今後の院内での共通理解と今後の多職種連携を促進する目的で開催しますので、是非ともご参加いただけますようご案内いたします。

お申込みは下記をご参照ください。

（申込期限 令和元年6月17日（月））



記

研修会内容：MSW の役割・業務、入退院支援について
岐阜医療圏退院支援ルールについて

対象者：退院支援に関わる職種（医師，看護師，薬剤師，リハビリテーション，栄養管理士など）

日時：令和元年6月19日(水) 17時30分～18時30分

場所：病院1階 多目的ホール

参加人数：40名前後を予定（先着順）

お申込み方法

◇ 医師

各病棟の退院支援カンファレンスで、MSWにお伝えください。

◇ 看護師

NASISTに参加案内を掲示します。看護部管理者会でもご案内します。

◇ リハビリスタッフの参加を促す

服部主任へお知らせください。

◇ 薬剤師

小林副部長へお知らせください。

◇ 管理栄養士

西村室長へお知らせください。



連絡先

岐阜大学医学部附属病院 医療連携センター
MSW 中野 事務 服部 (7344)

「令和元年度 医療連携週間」

テーマ： 頼りになる地域支援者をご存じですか？

日時 令和元年 11月15日(金)～21日(木)

講演会は 11:00～12:00 です

場所 岐阜大学病院 1階イベントコーナー (ピアノの東)



11月15日 (金)

地域包括支援センター職員からのおはなし

担当者：山田病院 地域包括支援センター 丸山さん

「健康寿命を延ばして楽しく暮らす」

「地域包括支援センターではこんな介護相談が受けられます」



11月18日 (月)

住宅改修のポイントやお役立ちグッズのご紹介

担当者：八神ホームヘルスセンター 日比野さん

「こんなヒントで住みやすいお家に大変身」「ベスト生活支援品」



11月19日(火)

かかりつけ薬局をもちょう

担当者：株式会社プラスピー 小池薬剤師さん

「なぜかかりつけ薬局が大切なの?」「最近の薬剤師さんの働き方」



シティタワー診療所
島崎 亮司

11月20日(水)

かかりつけ医をもちょう

担当者：シティタワー診療所 島崎亮司医師

「かかりつけ医の役割」「先生の毎日に行動について」

「どんなことをお願いできるの・・・」「頼りになる先生の存在」



11月21日(木)

訪問看護師を味方につけよう

担当者：寧色訪問看護ステーション 桑原さん

「訪問看護師さんの役割」「こんなことがお願いできるの・・・」

「頼りになる看護師の存在」「病院看護師も同行はじめます」

お気軽にお立ち寄りください 医療連携センター

第5章 広報活動報告

令和元年度 医療連携センター研修会

日時 令和元年6月19日(水)

参加者 49名(昨年度42名)

研修会内容

- 1 MSWの役割・業務、入退院支援について
- 2 岐阜医療圏退院支援ルールについて

岐阜医療圏での仕組みを取入れ地域関係者と連携します



ご挨拶

平素は医療連携センターの運営について格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。今年度の研修会は、MSWの役割・実務を知っていただき患者や家族のニーズに沿った退院支援を多職種チームで行えるようお互いの役割、当院での入退院支援の流れを理解し、今後の多職種連携を促進する目的で開催しました。

【出席者の内訳】

医師 7名(第一内科, 第3内科, 脳神経外科, 皮膚科, 歯科)

看護師 26名(看護部, 病棟, 外来, 医療連携センター)

リハビリ(理学療法士) 2名, 管理栄養士 2名, 薬剤師 2名, ソーシャルワーカー 7名

グループワーク テーマ

患者や家族のニーズに沿った退院支援を多職種チームで行えるよう

お互いの役割を知り退院支援の課題を検討しよう

医師: 地域の病院に診療科が無く、転院が困難な患者が多いが、swが地域と連携して在宅調整を行うほか医療費の相談ができることもわかった。病棟の退院支援カンファレンスは週1回開催され主治医にフィードバックはできるが、事前に病棟と医師がコミュニケーションをとって話ができるとよりよいと思いました。

看護師: 保存的治療で入退院を繰り返す患者は、緊急入院が多く、入院期間が長い傾向にある。方向性を主治医に確認すると共に、社会的ハイリスクのある患者は入院時の早期から多職種が情報提供し退院支援をしていく必要がある。

薬剤師: 患者、家族、各職種で視点も違い、ゴール設定が難しい部分があるが、早期に方向性が整えられるように各職種で連携がとれるといい。

管理栄養士: 病棟の病棟専任入退院支援看護師との関わりはあるが、MSWとどのように連絡したらいいのかわからない。

リハビリ: 退院時の課題にどうアプローチしたら良いか、誰に連絡したら良いかわからなかったが今後は多職種共同カンファレンスの開催日を確認して参加したい。

各病棟から医師、看護師をはじめ薬剤師、管理栄養士、リハビリスタッフ非常に多くの方にご参加頂き、有意義な研修会を開催することができました。これも皆様方のご支援によるものと感謝いたしております。また最後になりましたが今後とも医療連携センターをよろしく願います。



発行元 岐阜大学医学部附属病院 医療連携センター

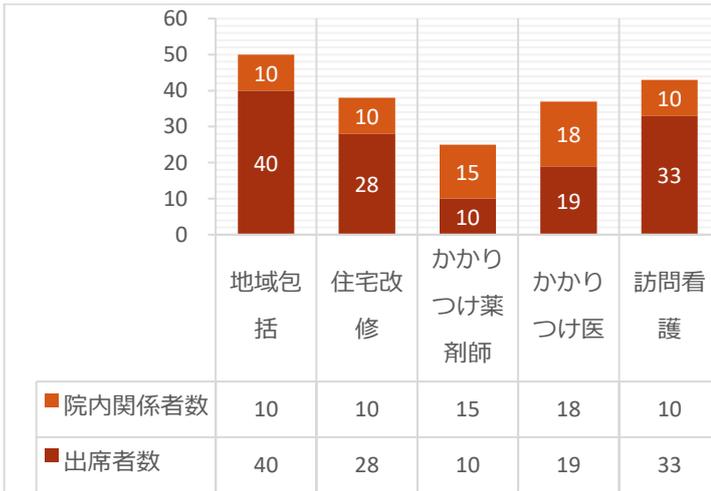
用語説明: 「退院支援カンファレンス」とは院内多職種(医師・看護師・退院調整係看護師・退院調整看護師・SW・薬剤師・栄養士・理学療法士など)で退院支援・調整について検討することを目的としている。チーム医療を目指し、専門的立場からの意見を集結するために多職種の参画が必要であり各部署で参加するメンバーに応じて名称を検討し活用してもよい。

医療連携週間を開催しました

日時 令和元年11月15日(金)～21日(木)
 場所 岐阜大学病院1階イベントコーナー
 テーマ **頼りになる地域支援者をご存じですか？**



医療連携センター
センター長 清水 雅仁



日替わり講演会講師は地域で活躍される専門職

- ・地域包括支援センター
- ・住宅改修のポイント
- ・かかりつけ薬局
- ・かかりつけ医
- ・訪問看護師

平素は医療連携センターの運営について格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この企画は、大学病院と地域の多職種（医療・介護・福祉）の連携について患者さんとそのご家族にご理解をいただくことを目的に開催しました。今後の「上手な医療のかかり方」を知っていただけたら幸いです。



【水平の連携】

これまでの医療システムは、急性期の大病院を頂点として、かかりつけ医を底辺とする「垂直連携」でしたが、今後はかかりつけ医が中心となって訪問看護師や介護分野などと連携する「水平連携」が中心となり、急性期の大病院はその外側において、地域の最後の砦となることが求められます。

訪問看護師を味方につけよう

碧い空株式会社 訪問看護
ナースコールセンター寧色
代表取締役 栗原 良次
「訪問看護師さんの役割」
「こんなことがお願いできるの？」
「頼りになる看護師の存在」
「病院看護師も同行はじめます」



かかりつけ医を持とう

シティ・タワー診療所
管理者・医師 島崎 亮司
「かかりつけ医の役割」
「先生の毎日について」
「どんなことを
お願いできるの・・・」
「身近な頼りになる存在」



岐阜市地域包括支援センター

丸山 久美
「健康寿命を延ばして楽しく暮らす」
「地域包括支援センターではこんな介護相談が受けられます」



ケアマネジャー等

住宅改修のポイントやお役立ちグッズのご紹介

株式会社 八神製作所 福祉用具専門相談員 日比野 祥子
「こんなヒントで住みやすいお家に大変身」 「ベスト生活支援品」



かかりつけ薬局を持とう

株式会社 プラスビー
取締役 薬剤師 小池 啓文
「なぜかかりつけ薬局が大切なの？」
「最近の薬剤師さんの働き方」



(アンケートより抜粋)

- ・かかりつけ医と大学病院の役割が理解できました。
- ・かかりつけ医の在宅医療医師の役割がよく分かった。連携して大学病院と在宅とつなげてもらい安心して暮らせるということが分かった。
- ・在宅医療の医師，訪問看護師など安心して暮らせることがわかりました。
- ・入院中ですが今回の話を聞いて退院後のことを自分でも頑張っていていきたいです。
- ・転院の話も出ている中，今回の話を聞いて，自宅，自分で頑張っていて退院方向で考えていきたいと思いました。
- ・地域包括支援センター丸山さんのお話がとても上手くてずっと入ってきました。より寄りそった利用者さんの生の声が聞けて良かったです。
- ・住宅改修のことで，今まで知らなかった事がわかり，これから利用したくなりました。
- ・住宅改修で実際の手すり等をみながら，説明してもらえたので，わかりやすかった。
- ・かかりつけ薬局を利用しています。皆さんも利用されると良いと思います。
- ・退院後の不安が少し軽減した。
- ・在宅医療でどんなことをやっているのかよくわかった。患者さんとの距離感が近くて安心して医療が受けられると思った。
- ・さまざまな専門職の方の話が聞けて，知識が広がりました。今後の治療病気とつき合っていく中で安心した部分も多くありました。
- ・病院から退院して自宅でサポートを受けながら生活する事は分かっているけど具体的などの様な事のできるのか，やってもらえるのかは知りませんでした。訪問看護でできる事を詳しく教えていただいて良かったです。
- ・訪問看護のお話は初めて聞き，費用，保険について，実際の事例などを知り将来利用するかも知れないことからとても参考になりました。



会場では出席者のみなさんからのご質問等に，多職種が対応しました。
 また，会場には「かかりつけ医」，「おくすり手帳」，「退院支援」，
 「福祉制度」など地域連携に関する掲示物も配置され，岐阜大学病院と
 地域の医療連携（院内・地域）との繋がりについて理解を深め，患者さんと
 その家族がどのように医療・介護・福祉の支援を受けることができるのかを
 学ぶ機会となりました。



2) 院外広報：医療機関対象『診療のご案内』

「診療のご案内2020」の作成について

毎年発刊

1. 掲載趣旨 県内唯一の大学病院，特定機能病院が提供している診療のご紹介として，各診療科の医師名，診療分野および週間の予定をご案内する。
2. 配布先 岐阜県下の病院・医院，愛知県の一部（一宮市周辺），大学病院等
計 2500件 ※持参配付分含む
岐阜大学内部 計500部 合計3000部作製
3. 執筆担当 各診療科・部門

1 標榜診療科・部門名

2 TEL

3 FAX

4 医師等紹介

① 顔写真

② 氏名，職名

③ 専門分野

④ 専門医等の資格（5つまで）

注意：5つ以上は校正側で削除しますのでご了承ください。

記載する専門医の順番をご注意ください。

病院ホームページ（総務課総務係）には5つ以上掲載可能ですので
ご記入ください。

5 週間予定等

月から金の午前，午後

連絡先

6 診療分野（高度医療・専門領域）及び高度な医療機器等

7 教育施設等

4. 作業スケジュール

令和元年	4月	原稿作成，確認依頼
	<u>5月から6月</u>	<u>校正</u>
	6月末	校了
	7月	印刷
	8月	送付
		※総務課総務係へデータ提供 病院ホームページ定期更新

3) 院外広報:連携医療機関対象『医療連携 NEWS』

医療連携センター 広報について

(経緯) 現在, 医療連携センターでは年1回「診療のご案内」を地域医療機関等へ配布している。また, 病院事務部総務課からは病院広報 うぶね(鵜舟)を年4回, 地域医療機関等, 患者等に配布している。

「診療のご案内」を配付するメリットとしては, 職員顔写真, 専門分野, 診察日の確認ができる。病院組織体系と概要を確認できる。デメリットとしては, タイムリーな情報ではないこと, 配布先も大学病院からアライアンス, 病診連携登録機関など医療機関を限定していない。

「鵜舟」を配付するメリットとしては, 読者が限定されていないので層の幅が広く広報できる。デメリットとしては, 大学病院の医療の提供についての記載が, 医療機関向けではない。

こうした従来の方法とは別に、地域医療機関へ大学病院ができる医療提供の内容を、日頃の連携が濃い医療機関へ確実に届けるための新たな広報誌の発刊を検討した。

例えば専門が異なる医師が大学病院専門医へ患者を紹介する際に、情報提供書の記載方法が簡略された様式のご案内, 新たな診療機器での診療案内などを予定している。

(配付先)

病診連携登録機関 約 280 機関

アライアンス締結病院 23 機関

関連病院 43 機関 (アライアンスと重複は除いて送付する)

(配付方法) 年4回発刊 (鵜舟と同様) 鵜舟に同封し郵送

(予算) 病院中央経費 400部印刷

(紙面) A4裏表カラー印刷

(原稿) 原則, 診療科番号順に各科へ依頼し, 希望があれば優先する。

(内容) 病診連携に関する診療科からの紹介アドバイス等

(発刊) 2019 年度より開始

連携News

医療連携センターでは、紹介患者の予約受付業務、退院支援業務、地域連携バス業務など地域医療機関と密接な連携を図り、患者さんが満足できる適正で質の高い医療を提供できるよう支援に努めています。



医療連携センター長 挨拶

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、『連携News』をお配りするにあたり一言ご挨拶させていただきます。このNewsは、病診連携に関する情報をご紹介する広報誌として活用いただければと存じます。次回以降は各診療科等より地域医療機関の先生方にお役に立つ情報提供に向けて努力して参りますので、引き続きご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。

大学院医学系研究科医科学専攻 腫瘍制御学講座消化器病態学分野教授
医療連携センター長 清水 雅仁

診療科紹介

消化器内科

『紹介・診療情報提供書 (B型・C型肝炎用)』のご案内

C型肝炎患者さんの肝発がん率は年間約8%です。

受療している患者さんは氷山の一角



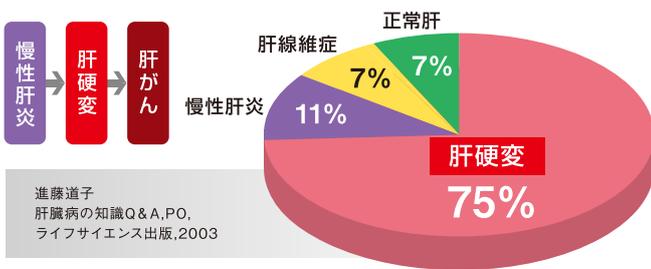
日本のウイルス性肝炎の問題点

医療機関で肝炎ウイルス陽性が判明していても、治療を受けていないこと。

患者さんにとって大切なことは・・・



肝がんのほとんどは、慢性肝炎・肝硬変から発生



慢性肝炎・肝硬変は肝がんの危険因子！

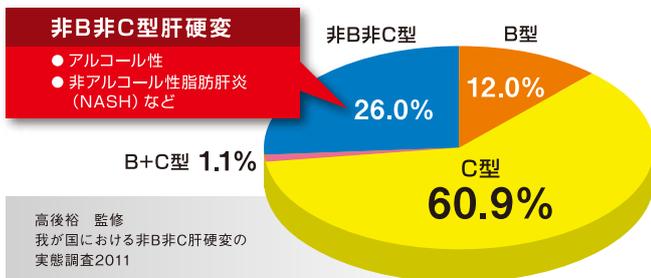
B型(HBV)およびC型肝炎ウイルス(HCV)の治療は大きく進歩しています。特にHCVに関しては、経口新薬の登場によって、今までインターフェロン治療を受けられなかった高齢者や様々な合併症を有する患者さんでも、ほぼ全例(95%以上)でウイルスを排除することが可能になっています。

そこで現在問題になっているのは、「**肝炎ウイルスが陽性にも関わらず抗ウイルス療法を受けていない患者さん**」が多数存在することです。

特に、観血的な処置(眼科や整形外科的な手術も含む)の際に、肝炎ウイルス検査を施行したにも関わらずその検査結果を患者さんに説明していない事例、肝炎ウイルスが陽性であっても肝臓専門医に相談していない事例が、多数存在することが報告されています。

この度、岐阜大学医学部附属病院は、**B型・C型肝炎ウイルス**診療に特化した「紹介・診療情報提供書」を準備しました。もし「HBs抗原」あるいは「HCV抗体」が陽性であれば、その時点で肝臓専門医にご相談下さい。抗ウイルス療法の適応および肝発がんのリスクを評価した後、紹介いただいた医療機関と連携して診療にあたらさせていただきます。岐阜県において「ウイルス肝炎関連ゼロ」をいち早く達成するために、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

肝硬変の最大の原因は肝炎ウイルス感染



「かかりつけ医」と本院との役割分担

本院は、病院と診療所の機能の役割分担を図るため、本院での診療により病状が安定した場合には、「かかりつけ医」など身近な医療機関で診療を継続することができるよう逆紹介の推進にも取り組んでいます。

岐阜大学医学部附属病院 医療連携センター

TEL : 058-230-7033 FAX : 058-230-7035

https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/

配付対象：アライアンスパートナーズ/医療機能連携協定締結病院
病診連携登録機関等

予約申込書と一緒に
FAX 送信してください
TEL 058-230-7033
FAX 058-230-7035
平日 8:30~17:00

紹介・診療情報提供書

(B型・C型肝炎用)

西暦 20 年 月 日

紹介先医療機関名
岐阜大学医学部附属病院
消化器内科

_____ 医師

紹介元医療機関
の所在地及び名称
電 話 番 号
診 療 科 名
医 師 氏 名

印

フリガナ 患者氏名		性別	男・女	職 業	
患者住所	〒			電話番号	() -
生年月日	明・大・昭・平・令		年	月	日 (歳)

傷病名	<input type="checkbox"/> B型肝炎 <input type="checkbox"/> C型肝炎 <input type="checkbox"/> その他・不明
現在の処方 ※肝疾患以外も含む	<input type="checkbox"/> とくになし <input type="checkbox"/> 肝庇護薬 (<input type="checkbox"/> 強力ネオミノファーゲンシー、 <input type="checkbox"/> ウルソ) <input type="checkbox"/> その他 ()
既往歴・家族歴合併症 など	
症状経過及び 検査結果	(検査日:)

《B型肝炎》

《C型肝炎》

HBs 抗原 : 陽性 ・ 陰性

HCV 抗体 : 陽性 ・ 陰性

もし測定されていたらご記載ください (※紹介時に記載いただく必要はございません)

HBe 抗原 : 陽性 ・ 陰性 HBV - DNA 定量 : () log IU/ml ・ 陰性

HCV - RNA 定量 : () log IU/ml ・ 陰性

紹介目的 (今後の病診連携に関する希望)

紹介先での診療判断による (自院への通院継続治療は紹介先の判断)

紹介先で肝臓の精密検査と治療 + 自院で肝臓以外の継続治療 (紹介先・自院両方へ通院)

その他 ()

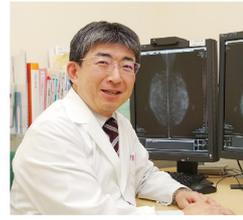
治療経過

備考

- 注) 1. 記入欄不足の場合は、続紙を添付してください。
2. 必要に応じて、画像診断フィルム、検査記録等を添付してください。
3. 宛名欄の医師名が不明の場合は、診療科名のみご記入ください。

連携News

医療連携センターでは、紹介患者の予約受付業務、退院支援業務、地域連携バス業務など地域医療機関と密接な連携を図り、患者さんが満足できる適正で質の高い医療を提供できるよう支援に努めています。



大学院医学系研究科
腫瘍外科学分野 臨床教授
岐阜大学医学部附属病院 乳腺外科長
がんセンター 副センター長

二村 学

乳腺外科では全ての乳腺疾患に対応していますが、今回は乳がん検診等で異常を指摘された患者の診察についてご紹介します。視診、触診に加えてマンモグラフィー、乳房超音波検査を行い、必要に応じて病理診断を行います。病理検査を含めて全ての検査を院内で行いますので迅速な診断が可能です。

診療科紹介／乳腺外科

『岐阜大学医学部附属病院 乳腺外科』の特徴

早期の症例が増えてきています！ 検診意識の向上・自己検診の重要性

1. 適格で正確な早期発見

- 中央精度管理機構の読影委員が在籍
- 超音波 … MRI 融合画像による微細診断
- 乳腺外科と放射線科合同での詳細な症例検討

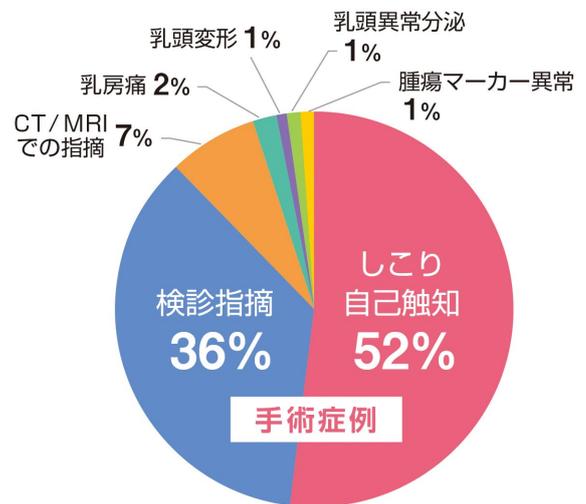
2. 患者のニーズに応える治療法を選択

- 整容性重視の乳房温存療法
- 形成外科との連携で幅広い乳房再建のオプション
- ラジオ波焼灼を用いた非手術療法
- 治験をはじめ、最新治療を組み合わせた集学的治療
- がんゲノム医療の導入

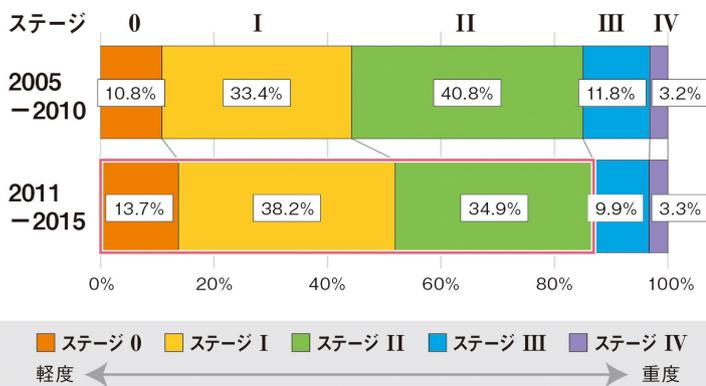
3. 連携診療による長期的な治療システムの構築

- 産婦人科との連携で、若年患者さんの妊孕性温存
- 乳がん連携バスを用いた、地域医療機関との連携

2016年の受診動機の内訳



岐阜大学での検診時Stageの変化



本院は厚生労働省より『都道府県がん診療連携拠点病院』の指定を受けており、外来化学療法室、緩和ケア、栄養、リハビリテーションなどの多職種が協力して包括的ながん治療を行っています。また、岐阜県下統一の乳がんの『地域連携バス』を活用し、診療計画の提示・説明を実施しています。拠点病院で入院治療を行い、地域の医療機関へ通院する際も診療内容を情報共有し機能分担をすることで、地域で安心して最もよい治療を受けることができるよう、連携バスの推進と地域連携に取り組んでいます。



「かかりつけ医」と本院との役割分担

本院は、病院と診療所の機能の役割分担を図るため、本院での診療により病状が安定した場合には、「かかりつけ医」など身近な医療機関で診療を継続することができるよう逆紹介の推進にも取り組んでいます。

岐阜大学医学部附属病院 医療連携センター

TEL : 058-230-7033 FAX : 058-230-7035

<https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/>

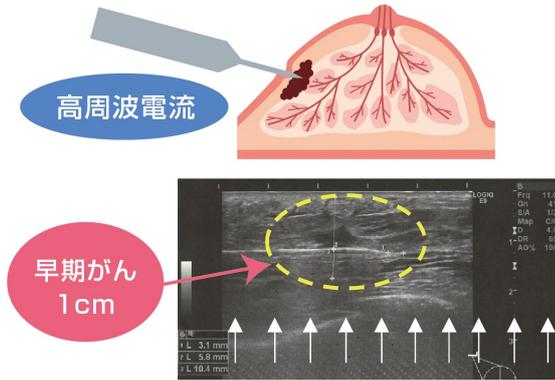
配付対象：アライアンスパートナーズ／医療機能連携協定締結病院
病診連携登録機関等

大学病院での治療紹介

手術をしない！ ラジオ波焼灼療法(RFA)

超音波で“腫瘍”を観察しながら針を刺して
“がん”を高周波電流で焼く

先進医療として施行しました。
今夏から「患者申し出医療」として再開します。



にんようせい

妊孕性温存を考慮した 乳がん治療

若年乳がん患者さん治療の際、産婦人科医と協力して

お薬 [抗がん剤
ホルモン療法剤] の治療前に

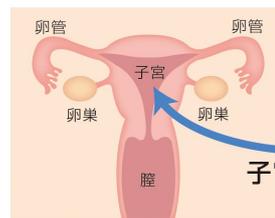
[1.受精卵温存
2.卵子温存
3.卵巣温存] を行って卵を守り、

治療後に、妊娠・出産を目指します！

治療前

卵子 + 夫の精子 (人工授精)

凍結保存



子宮に戻す

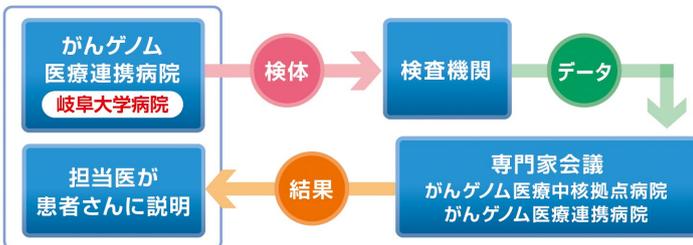
5年後
(治療後)

がんゲノム医療の推進

遺伝子変異に着目した臓器横断的な治療薬の選定

がんゲノム医療とは、遺伝子情報に基づく個別化医療の1つです。主にがんの組織を用いて多数の遺伝子を同時に調べ、遺伝子異常を明らかにすることにより、一人ひとりの体質や症状に合わせて治療などを行う医療です。

がんゲノム医療をめぐる、厚生労働省が「がんゲノム医療中核拠点病院」、「がんゲノム医療連携病院」を指定し医療提供体制の整備を進めています。実際の治療の流れは、まずがんゲノム医療連携病院(岐阜大学病院)が患者にがん遺伝子パネル検査の説明を行い、検体を採取して検査機関に送付。検査機関が検査を行い、その結果をがんゲノム医療中核拠点病院との専門家会議で治療方針を検討した上で、担当医が結果を患者に説明し、実際の治療にあたります。



国立がん研究センター 東病院

- ・岐阜大学病院
- ・筑波大学
- ・聖マリアンナ医大
- ・杏林大学
- ・亀田総合病院
- ・千葉県がんセンター
- ・金沢大学



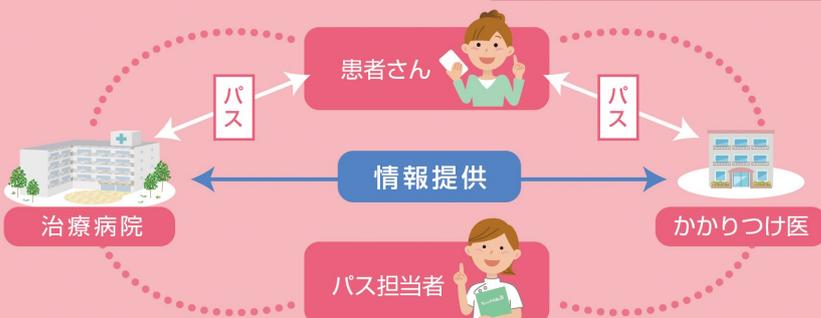
慶応大学病院

- ・岐阜大学病院
- ・木沢記念病院
- ...

名古屋大学病院 国立がん研究センター 中央病院

- ・岐阜大学病院
- ・岐阜県総合医療センター
- ・岐阜市民病院
- ・大垣市民病院
- ・三重大学病院
- ・浜松医科大学病院
- ・名古屋市立大学病院

乳がん連携パスの推進



① 地域医療機関との連携

② 綿密な情報交換

③ 他疾患も含め広くカバーができる

岐阜県地域連携パス
乳がん.pdf



連携News

医療連携センターでは、紹介患者の予約受付業務、退院支援業務、地域連携バス業務など地域医療機関と密接な連携を図り、患者さんが満足できる適正で質の高い医療を提供できるよう支援に努めています。



小児科 外来医長 講師
アレルギーセンター 副センター長
川本 典生

複数の診療科による相互連携

本院のアレルギーセンターは、平成30年5月25日付けで岐阜県アレルギー疾患医療拠点病院に選定されたことに伴い、平成30年8月1日付けで新たに中央診療施設に設置されました。複数の診療科において**アレルギー診療の専門医師が担当**しており、また、医師、看護師、薬剤師、栄養士にわたる多職種連携を通して、診療、情報提供、人材育成、研究、教育機関の対応への助言・支援等を積極的に行っています。

診療科紹介／アレルギーセンター

アレルギーセンターでできること（小児領域）

食物アレルギーの管理：正しい診断に基づく必要最小限の除去が重要

食物経口負荷試験を含む適切な診断

- 抗原特異的IgEの抗体価のみでは、正確な診断はできません。
- 採血で検査できない項目についても、ブリックテストなどで精査をすすめます。

必要最小限の除去と摂取安全量の確認

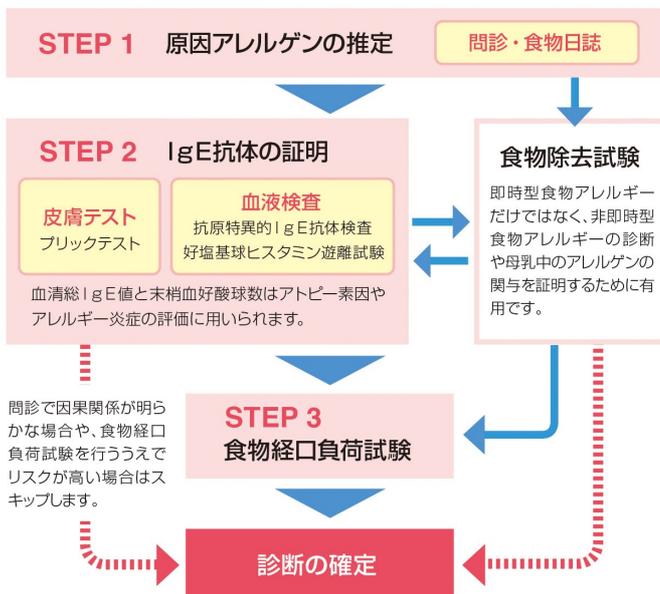
- 無理のない目標量の設定と、摂取間隔を十分にとるなど、食物経口負荷試験の安全性を高める試みがなされています。
- 食物経口負荷試験の後に安全な摂取量を設定するなどの指導を行っています。

不必要な除去の弊害

- 不必要な除去食により栄養が障害されたり、場合によっては以前摂取できたものを除去している間に摂取できなくなる例の報告などもあります。

こどもに多い食物アレルギーの適切な診断

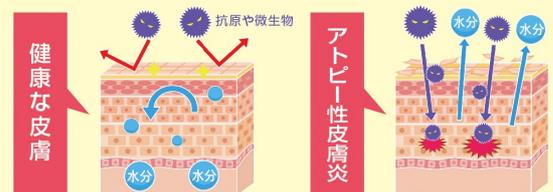
食物アレルギーの診断手順



よくわかる 食物アレルギーの 基礎知識～独立行政法人 環境再生保全機構～

その他のアレルギー疾患の適切なコントロール

アトピー性皮膚炎



アトピー性皮膚炎は「経皮感作」の原因になります。コントロール不良のアトピー性皮膚炎は、抗原特異的IgE抗体がなかなか下がらない原因とも考えられています。軟膏塗布の指導を含めて適切なコントロールを推進しています。(小児アレルギーエデュケーター資格をもつ看護師などが小児科外来・病棟でお手伝いしています。)

気管支喘息

症状からはコントロール良好と考えられても、呼吸機能検査などが悪い喘息患者さんもおられます。呼吸機能検査や呼気NO検査など客観的な検査をふくめて判断し適切なコントロールを目指しています。



「かかりつけ医」と本院との役割分担

本院は、病院と診療所の機能の役割分担を図るため、本院での診療により病状が安定した場合には、「かかりつけ医」など身近な医療機関で診療を継続することができるよう逆紹介の推進にも取り組んでいます。

岐阜大学医学部附属病院 医療連携センター

TEL : 058-230-7033 FAX : 058-230-7035

<https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/>

配付対象：アライアンスパートナーズ／医療機能連携協定締結病院
病診連携登録機関等

アレルギーセンターで対応していること（小児領域）

アトピー性皮膚炎（小児）

- ・アトピー性皮膚炎の軟膏塗布指導（医師・アレルギーエドキュレーター）
- ・アトピー性皮膚炎の教育入院
- ・アトピー性皮膚炎様の皮疹を呈する免疫不全症の診断

気管支喘息

- ・呼吸機能検査、呼気NO検査
- ・気道過敏性試験（メサコリン吸入試験）
- ・ピークフローメーターの導入
- ・吸入指導（アレルギーエドキュレーター・薬剤師）
- ・生物学的製剤の投与
- ・長引く咳の鑑別（喘息以外が原因の咳も含めて）

食物アレルギー

- ・ブリックテスト
- ・食物経口負荷試験
- ・安全な食事摂取量の設定と定量摂取、食事指導
- ・稀な食物アレルギーの診断

新生児・乳児食物蛋白胃腸症

（新生児乳児消化管アレルギー）

- ・診断（リンパ球刺激試験を含む）
- ・治療
- ・食物経口負荷試験
- ・離乳食の指導

食物依存性運動誘発アナフィラキシー

- ・誘発試験（運動負荷試験）

薬物アレルギー

- ・診断（リンパ球刺激試験・パッチテストを含む）
- ・薬物負荷試験（状況により）

アレルギー性鼻結膜炎（小児）

- ・検査、治療
- ・舌下免疫療法（ダニ・スギ）

その他

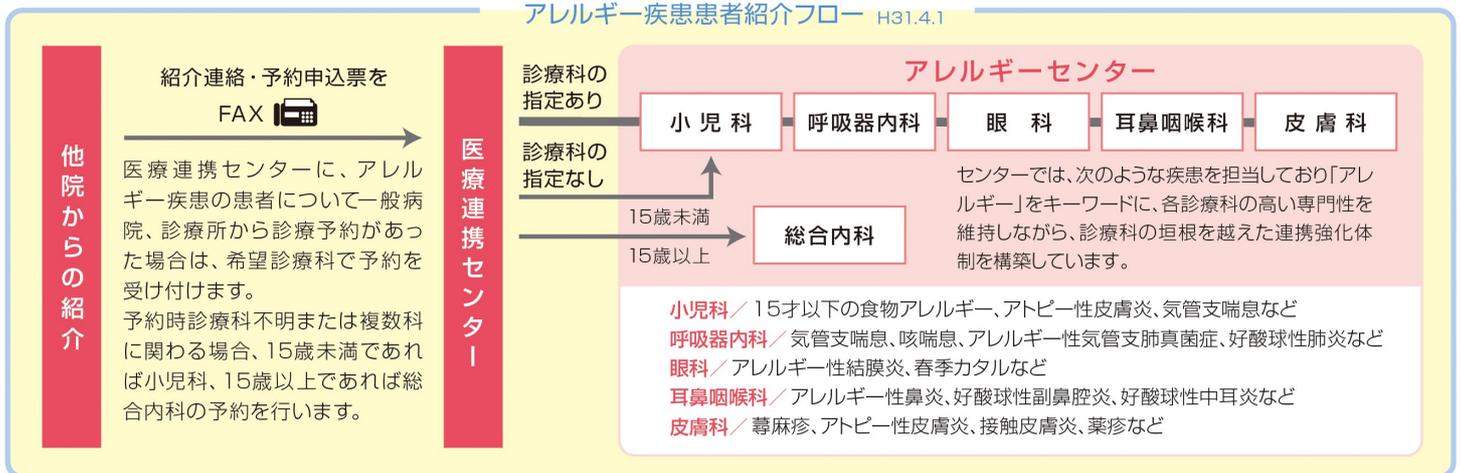
- ・血管性浮腫（家族性遺伝性血管性浮腫含む）の対応

成人領域

成人領域でも成人のアレルギー診療に精通したアレルギー専門医や総合内科、呼吸器内科、皮膚科、耳鼻科、眼科の各専門医が連携して対応を行っています。さらにアナフィラキシーなど緊急対応については高次救命治療センターの医師が対応しています。アレルギーでお困りの患者さんがおられましたら、医療連携センターを通じて予約をお願いします。

医療連携センター 他院からのアレルギー疾患患者紹介の流れ

アレルギー疾患患者紹介フロー H31.4.1



市民公開講座のご案内（一般向け）

アレルギーセンターのアレルギーを専門に診療している医師が、気になるアレルギー疾患のあれやこれを解説します。小児科領域では食物アレルギーについて、アトピー性皮膚炎の影響もふくめて分かりやすく解説します。成人領域では、アレルギー性鼻炎、花粉症の診療について解説します。

岐阜大学医学部附属病院 アレルギーセンター 第1回 市民公開講座

アレルギーとじょうずにつきあうために

司会：岐阜大学医学部附属病院 アレルギーセンター 深尾 敏幸 先生

令和元年
12/15 日

講演

1. こどもの食物アレルギーとアトピー性皮膚炎 岐阜大学医学部附属病院 小児科 川本 典生 先生
2. アレルギー性鼻炎と花粉症 岐阜大学医学部附属病院 総合内科 森田 浩之 先生

場所：岐阜大学サテライトキャンパス 多目的講義室（大） 〒500-8844 岐阜市吉野町6丁目31番地
岐阜スカイウイング37 東棟4階（JR岐阜駅から徒歩5分、名鉄岐阜駅から徒歩8分）
時間：14:00～16:00（13:30開場） 対象：患者さんやご家族、アレルギーに関心のある方

申込方法：任意の様式で構いませんので、参加される方のお名前、連絡先を記載の上、12月10日までにアレルギーセンター事務局宛にFAXまたは、ご郵送にてお申込みください。当日参加も可能ですが、事前申し込みの方を優先します。

入場
無料

連携News

医療連携センターでは、紹介患者の予約受付業務、退院支援業務、地域連携バス業務など地域医療機関と密接な連携を図り、患者さんが満足できる適正で質の高い医療を提供できるよう支援に努めています。



医学系研究科 病態制御学講座
整形外科学分野 准教授 松本 和

ロボット手術は安心・安全・正確な手術を可能にします

ロボット手術は保険適用の術式が増え、より良い医療の身近な選択肢として選ばれています。岐阜大学病院では、東海地区で初めて最新の手術支援ロボット「ナビオ」を導入しました。特定機能病院として最先端の医療を充実することで、診断から治療、手術、術後のフォローアップまで患者さんの負担を軽減します。また、本院で手術を受けられる患者さんに最も適した医療環境を提案し、安心で安全な周術期管理を支援するための「術前管理センター」を設置しております。手術前に不安を感じる患者さんへの情報提供や、手術当日の流れ、術後の患者さんをサポートし早期回復を目指します。

診療科紹介／整形外科

東海地方初！人工膝関節置換術 支援ロボット ナビオ

人工膝関節手術においてロボット支援システムは、一貫性の高い正確な手術を達成する事を目指した術者を支援する技術です。

岐阜大学の膝関節診療班では、70歳以下の患者さんには基本的には可能な限りご自身の膝関節を温存するような、**高位脛骨骨きり術 (HTO)** を行っています。70歳以上の方には、術後比較的侵襲の少ない**単顆型人工膝関節 (UKA)** を行い早期の回復を目指します。変形が強い患者さんには**人工膝関節全置換術 (TKA)** を行い、積極的に下肢の機能改善を図り、寝たきり、要介護の予防に努め、積極的に楽しいシニアライフを送るための手助けを行っています。

また、ナビゲーション技術を応用し、専用の骨切除ガイドにロボット支援のハンドピースを使用する事により患者様が従来以上に手術後の満足度の高い生活を過ごす事を目指した技術を併用しています。



▲人工膝関節専用ロボット「ナビオ」

支援ロボット ナビオとは

人工膝関節置換術
ナビオ ロボット支援手術システム

正確で安全な手術を目指した術者を支援するロボットです。

全国患者数について

変形性膝関節症 **2,500**万人

関節の軟骨がすり減り変形や痛みを生じ、日常生活に支障を来す疾患です。中高年女性に多く、日本では2,500万人がかかっていると言われています。我々は治療として、可能な限りご自身の膝関節を温存するような、**高位脛骨骨きり術 (HTO)** や**その他の膝周囲骨切り術**を積極的に行っています。自分の膝が残ることで、スポーツ復帰が可能となる患者さんもおおいでになります。ご高齢の方や変形が進行した患者さんには、術後比較的侵襲の少ない**単顆型人工膝関節 (UKA)** を行い早期の回復を目指します。変形が強い患者さんには**人工膝関節全置換術 (TKA)** を行い、積極的に下肢の機能改善を図ります。治療をする事で、寝たきり、要介護の予防に努め、積極的に楽しいシニアライフを送るための手助けを行っています。

大学病院での年間手術件数

	2018年度	2019年度 4月から11月末まで
画像等手術支援加算 (ナビゲーション)	94	78
人工関節置換術 (膝)	73	49
人工関節再置換術 (膝)	6	6
人工関節除去術 (膝)	4	2

入院日数について

単顆型人工膝関節 (UKA) では 2週間程度

人工膝関節全置換術 (TKA) では 3週間程度

適切な手術で元気に歩ける喜びを

膝の痛みで旅行や外出など楽しみにしていたことができないなど、日常生活で支障をきたす患者さんがいらっしゃいましたら、まずはご相談ください。基本的にお元気な方であれば、85歳を超える患者さんでも手術を受けられる患者さんもおおいでになります。

「かかりつけ医」と本院との役割分担

本院は、病院と診療所の機能の役割分担を図るため、本院での診療により病状が安定した場合には、「かかりつけ医」など身近な医療機関で診療を継続することができるよう逆紹介の推進にも取り組んでいます。

岐阜大学医学部附属病院 医療連携センター

TEL : 058-230-7033 FAX : 058-230-7035

https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/

配付対象：アライアンスパートナーズ／医療機能連携協定締結病院
病連携登録機関等

人工膝関節全置換術

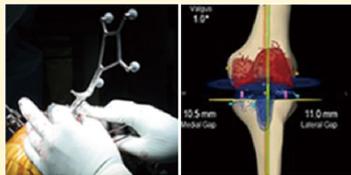
TKA Total Knee Arthroplasty



末期変形性膝関節症の患者さんに行う手術です。この手術は痛んだ軟骨を切除し人工の金属をかぶせ、その間に高分子ポリエチレンでできた人工軟骨を挿入して関節を新たに作る治療法です。

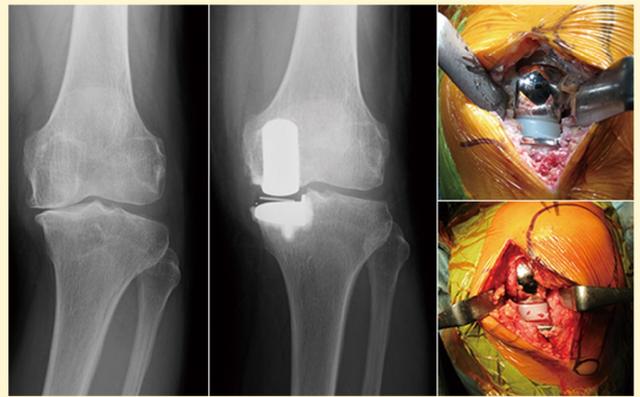
耐用年数は20年以上の良好な成績が報告されています。手術の際には症例により、ロボット支援手術を行って、インプラントのより正確な設置を目指します。この手術を行うことによってひざの痛みが軽減し、不安定だった膝の安定が得られるため、より安定した歩行が可能となり健康寿命が延びることが期待されます。

人工関節手術の際には頭まで覆った手術着、通称“宇宙服”を着用して手術します。ロボットが患者さんの膝の状態を認識して関節の位置を知らせてくれる、『ロボット支援手術』を行って、より正確なインプラントの設置を行っていきます。



単顆型人工膝関節置換術

UKA Unicompartmental Knee Arthroplasty



内側型変形性膝関節症、大腿骨内顆骨壊死に対する手術です。この手術では痛んだ軟骨が内側のみであり、かつ靭帯がしっかりしている場合に適応になります。

手術は膝の内側を10cm程度切開し、痛んだ骨を切除し人工の金属をかぶせ、その間に高分子ポリエチレンでできた人工軟骨を挿入して関節を新たに作る治療法です。耐用年数は20年以上の良好な成績が報告されています。この手術を行うことによってひざの痛みが軽減し、より安定した歩行が可能となります。TKAと比較して手術侵襲が小さく、膝の曲がりが良いのが特徴です。

単顆型人工関節手術では、膝の内側に約6~8cm程度の皮膚切開を使用し手術を行います。TKAに比べて手術侵襲が小さいのが特徴です。

本治療でも、『ロボット支援手術』を行って、より正確なインプラントの設置を行っていきます。

医療連携センターからのご願い

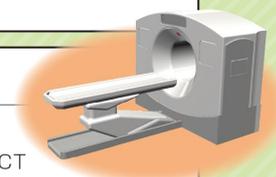
PET/CTを用いた腫瘍診療および地域医療連携について



PET検査を行うにあたり、保険適用要件および選択基準がありますので、ご注意ください。ご不明な点がございましたら、検査申し込み時に高次画像センターの放射線科医へご相談下さい。下記の保険適用要件・選択基準を満たさないPET/CT検査は施行することができません。お申込みの際には、診断に至った根拠を「診療情報提供書」に記載いただくようお願い申し上げます。

PET/CT検査 保険適用疾患チェック

疾患名	種別	
てんかん	難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる患者	
心疾患	<ul style="list-style-type: none"> 虚血性心疾患による心不全患者の心筋組織バイアピリティ診断（他の検査で判断のつかない場合に限る） 心サルコイドーシスにおける炎症部位の診断が必要とされる患者 	
悪性腫瘍（早期胃癌除く）	病期診断、転移・再発診断（他の検査、画像診断により診断が確定できない患者）	
悪性腫瘍（早期胃癌を除く）	保険適用要件	他の検査、画像診断により病期診断、転移・再発の診断が確定できない患者
	保険適用症例の選択基準	<ul style="list-style-type: none"> 病理組織学的に悪性腫瘍と確認されている患者であること 病理組織学的診断が困難である場合には、臨床病歴、身体所見、PETやPET/CT以外の画像診断所見、腫瘍マーカー、臨床的経過観察などから、臨床的に悪性腫瘍と診断される患者であること <small>～FDG PET、PET/CT診療ガイドライン2012 日本核医学会より～</small>



「患者相談窓口」のご案内（医療連携センター）

当院は患者さんやご家族が希望する適切な医療が受けられるよう、療養に関わる相談支援を行っています。ご心配なこと、お困りのことなどがありましたら、お気軽にご相談ください。また、ご予約は医療連携センターまたは下記の電話番号まで、お問い合わせください。

相談内容と相談担当者

責任者 医療連携センター長 清水 雅仁

看護相談	看護師が患者と家族の療養についての相談、在宅看護・退院に伴う相談を伺い一緒に考えます。【費用】無料	看護師 堀田・廣瀬・日比野・齊藤
医療福祉相談	ソーシャルワーカーが医療費、生活費などの経済的問題や社会福祉制度の相談、仕事に関する相談、療養生活、転院、退院に伴う相談を伺い一緒に考えます。【費用】無料	ソーシャルワーカー 中野・山本・多田・水向・野口・山内・浅井
がん相談	看護師やソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士が、がんに関連した疑問やお悩みを伺い、解決のお手伝いをします。 例：緩和ケア、生殖医療相談【費用】無料	看護師 荻谷・日比野
女性専門相談 (予約制)	女性医療スタッフによる健康相談です。【費用】有料 【予約方法】所定様式をFAX送信し予約します。詳しくはご相談ください。	女性医療スタッフ
セカンド オピニオン (予約制)	セカンドオピニオンとは、患者さんが納得のいく治療法を選択することができるように、治療の進行状況、次の段階の治療選択などについて、現在診療を受けている担当医とは別に、違う医療機関の医師に「第2の意見」を求める相談のことです。本院へのセカンドオピニオン、または本院から他医療機関へのセカンドオピニオンをご希望の方は、お気軽にご相談ください。なお、他病院へセカンドオピニオンには、本院の主治医からの紹介状、今までの検査データなどが必要です。準備にお時間をいただきますので、ご了承ください。 【予約方法】所定様式をFAX送信し予約します。詳しくはご相談ください。 【費用】有料 病院によって料金は異なります。	事務職員 服部
要望・苦情等	電話 058-230-6106 ※安全管理に関するご相談もお受けします。	

【お問い合わせ先】 医療連携センター 電話 058-230-7049

【相談受付時間】 平日 9:00 ~ 17:00

(祝日、年末年始 12/29~1/3 を除く)

※相談の時間は、30分程度までとさせていただきます。

※相談内容の秘密は、厳守いたします。

(担当者が不在の時は、後日ご連絡します。)





セカンドオピニオン

診断や治療法について主治医以外の意見を聞くことに関する相談です。

病院や診療所で診断や治療の説明を受けたが、困ったり、悩んだりしているとき
(自分が受けた診断について確信が持てなかったり、決断に至るまでの情報が足りないと思ったとき)
にご利用ください。

※相談内容は、治療・診断に関することに限ります。治療は行いません。あくまでも相談のみとなり、有料(予約制)です。
情報提供書をご用意ください。



その他の相談

その他ご心配なこと、お困りのことなどがありましたら、お気軽にお申し出ください。

●相談内容

- ・治療方法や検査について不安
- ・後遺症、副作用のことが心配
- ・自分にあった治療法について
- ・これからのことが不安

案内図



1階 医療連携センターは
病院 正面玄関より直進の入り口です。



患者相談窓口 のご案内



当院で利用できる相談内容

- 看護相談
- 医療福祉相談
- がん相談
- 女性専門相談(予約制)
- セカンドオピニオン(予約制)
- 要望・苦情等

※安全管理に関するご相談もお受けします。



岐阜大学医学部附属病院

岐阜大学 〒501-1194 岐阜市柳戸 1-1

【お問い合わせ先】

医療連携センター 電話 058-230-7049

【相談受付時間】

月曜日から金曜日 9:00~17:00
(祝日、年末年始 12/29~1/3 を除く)

MEMO



看護相談

看護師

看護師が病気・療養中の相談を伺い一緒に考えます。

●相談内容

- ・病気、治療について知りたい
- ・自宅での医療処置方法を知りたい
(点滴・胃ろう・床ずれ予防など)
- ・訪問診察、訪問看護を受けたい
- ・退院後もしハビリを続けたい
- ・退院後の生活で心配や困りごとがある
- ・治療にあたり家族の心配がある



医療費等、社会保障制度の相談

ソーシャル
ワーカー

ソーシャルワーカーが、社会保障制度について相談を伺い、一緒に考えます。

●相談内容

- ・医療費制度の仕組みを知りたい
- ・医療費の助成ができる制度がないか
- ・休職、退職をすることとなったが、生活費が不安
- ・各種福祉手帳の活用方法を知りたい
- ・子育て支援について知りたい



がん相談

看護師



ソーシャル
ワーカー

看護師やソーシャルワーカー、薬剤師、管理栄養士が、がんに関連した疑問やお悩みを伺い、解決のお手伝いをします。

●相談内容

- ・がんと告知され、不安でいっぱい
- ・治療の選択に迷っている
- ・がん治療で子供を産むことへの影響があるか
- ・家族に病気のことをどう伝えるか
- ・副作用が心配
- ・食事の工夫を知りたい



緩和ケアに関する相談

看護師



ソーシャル
ワーカー

緩和ケアとは診断された時から、身体・心・社会的な困りごとに対し共に和らげるものです。

あなたの困りごとに対し、相談をお受けします。

●相談内容

- ・緩和ケアといわれ、不安でいっぱい
- ・緩和ケアで何をしてもらえるのか
- ・緩和ケアを受けたい



ソーシャル
ワーカー

仕事に関する相談



社会保険
労務士

がん相談支援センターの相談員が情報を整理して、専門の支援先へ連携します。

- ✓社会保険労務士
- ✓両立支援促進員
- ✓就職支援ナビゲーター

●相談内容

- ・職場で病名を伝えたほうがいいのか
- ・傷病手当金の申請の仕方が知りたい
- ・病名を伝えたら退職を勧められた
- ・退職したら健康保険はどうなるのか
- ・現在休職中で復職を希望している
- ・現在離職しており就職を希望している



看護師

在宅看護に関する相談



ソーシャル
ワーカー

看護師やソーシャルワーカーが、家庭での生活・介護での心配や困りごとの相談を伺い、一緒に考えます。



●相談内容

- ・介護保険について知りたい
- ・介護用品を購入、レンタルしたい
(介護ベッド・車いすなど)
- ・自宅で入浴することが大変になった
- ・1人暮らしで、家事を手伝ってほしい

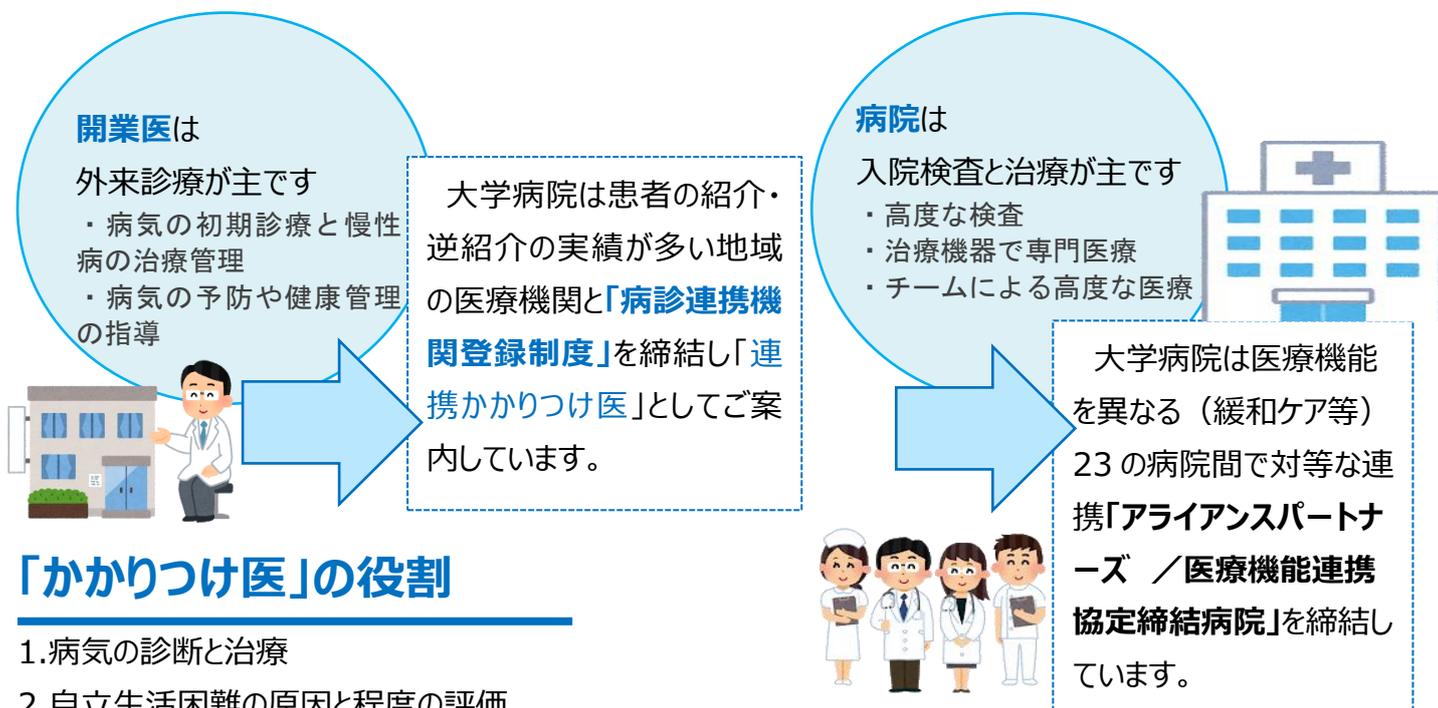
「かかりつけ医」と「本院」との役割分担について

岐阜大学医学部附属病院では、地域医療機関の「かかりつけ医師」と「大学病院医師」との併診を推奨しています。

「かかりつけ医」とは？

日頃から、あなたの過去の病歴を良く知り、現在の健康状態を把握して、病気の治療や健康相談など、何でも安心して気楽に相談できる先生です。

必要に応じ、専門医や専門の病院などと連絡をとってくれる身近な医師のことです。



「かかりつけ医」の役割

1. 病気の診断と治療
2. 自立生活困難の原因と程度の評価
3. 日常生活の指導助言
4. 状況に応じた関係機関の紹介（専門医、地域包括支援センター等）
5. ケアマネージャーや地域包括支援センター職員との連携
6. 訪問看護センターとの連携

「かかりつけ医」との併診を推奨しています

本院での診療により病状が安定した場合には、「かかりつけ医」など**身近な医療機関と大学病院との併診で治療を継続**できるよう**逆紹介の推進**にも取り組んでいますので、ご理解とご協力をお願いします。

作成 2020年8月
岐阜大学医学部附属病院
医療連携センター



退院・転院のご相談は医師・看護師・ソーシャルワーカーにお伝えください

【相談内容】 たとえば こんな時に ご相談ください

- ・医療費制度，社会保障制度，介護保険について
- ・退院後の生活を整える方法について
- ・自宅で続ける医療処置について
- ・転院や施設のご紹介について
- ・仕事と治療の両立について

患者さんの状況に応じて専門職員が対応します。

☆病棟退院調整係

看護師

☆医療連携センター□

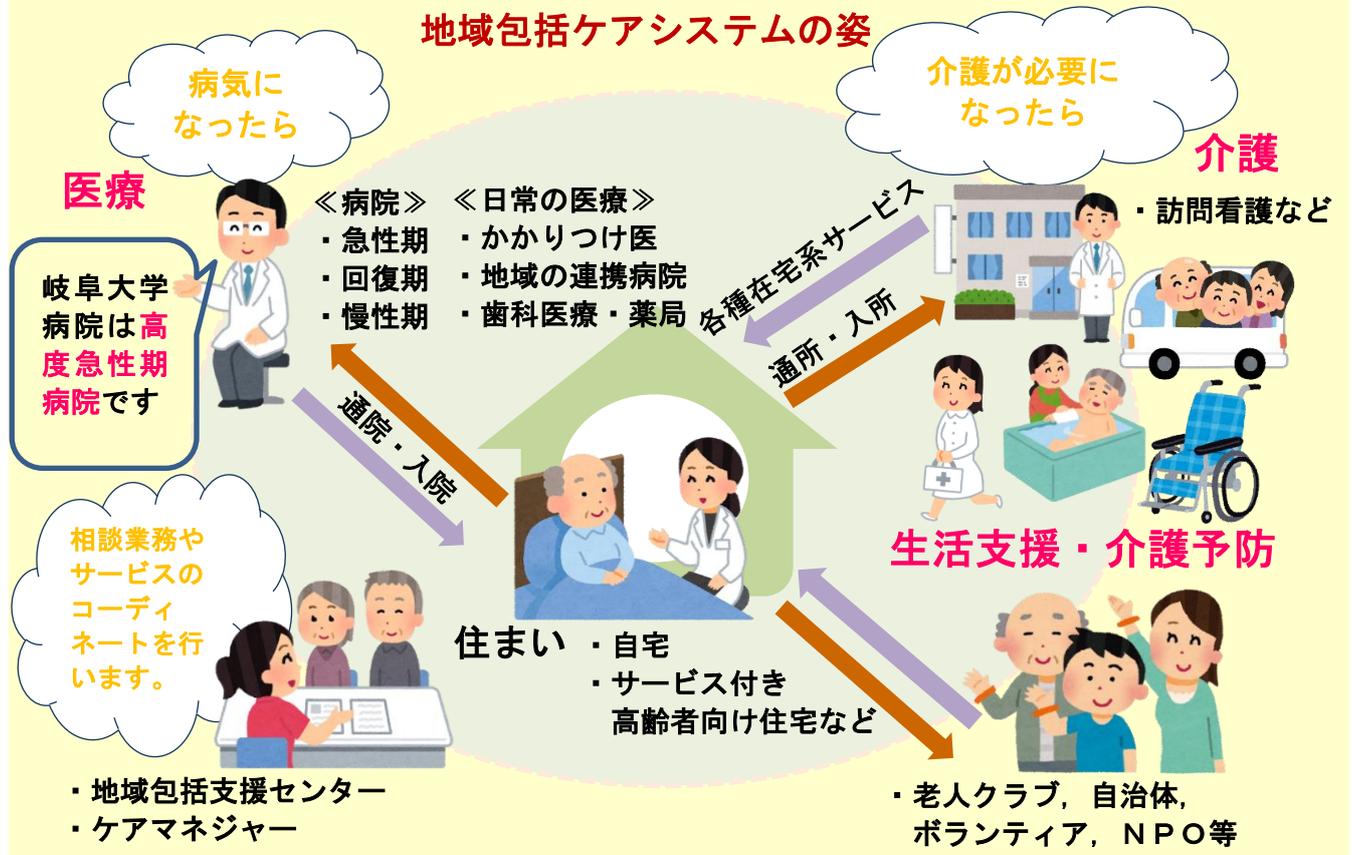
ソーシャルワーカー

退院調整看護師



厚生労働省では、**地域包括ケアシステム**の構築を推進しております。2020/5/31

地域包括ケアシステムの姿



岐阜大学医学部附属病院は、一般の医療機関では実施することが難しい高度な医療や先進医療を提供する**特定機能病院**として厚生労働省から承認を受けた医療機関であり、その機能を果たすため、地域医療機関との密接な連携による診療を提供しています。

また、**高度急性期病院**として急性期の患者さんに対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供するとともに、急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能を有する、かかりつけ医、地域の連携病院等との多職種協働による在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するための取組を推進しています。

患者相談窓口（医療連携センター）

相談受付時間 月曜日から金曜日9：00～17：00
（祝日，年末年始12/29から1/3を除く）

責任者	医療連携センター センター長	清水 雅仁
担当者	職種 看護師	安藤 真由実
	職種 看護師	堀田 みゆき
	職種 看護師	日比野 美由紀
	職種 メディエーター	松野 泰子
	職種 ソーシャルワーカー	中野 貴仁
	職種 ソーシャルワーカー	山本 恭孝
	職種 ソーシャルワーカー	多田 真
	職種 ソーシャルワーカー	水向 美央
	職種 ソーシャルワーカー	安東 知子
	職種 ソーシャルワーカー	山本 祐樹
	職種 ソーシャルワーカー	野口 史緒
	職種 ソーシャルワーカー	山内 寛貴
	職種 事務職員	福田 正哉

【看護相談】	<ul style="list-style-type: none"> ・患者と家族の療養についての相談，在宅看護・退院に伴う相談 ・「難病相談」難病患者が安心して住み慣れた地域で療養できるための相談 <p>平日 9：00～17：00</p> <p>担当者 堀田 みゆき（看護師） 廣瀬 純子（看護師） 日比野 美由紀（看護師） 米山 久恵（看護師）</p>
【医療福祉相談】	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費，生活費などの経済的問題や社会福祉制度の相談 ・仕事に関する相談，療養生活，転院，退院に伴う相談 <p>平日 9：00～17：00</p> <p>担当者 中野 貴仁（ソーシャルワーカー） 山本 恭孝（ソーシャルワーカー） 多田 真（ソーシャルワーカー） 水向 美央（ソーシャルワーカー） 安東 知子（ソーシャルワーカー） 山本 祐樹（ソーシャルワーカー） 野口 史緒（ソーシャルワーカー） 山内 寛貴（ソーシャルワーカー）</p>
【がん相談】	<ul style="list-style-type: none"> ・「がん」に関わる医療や，がん患者の生活についての相談 ・「生殖医療相談」がん治療に伴う妊孕性に伴う相談 ・「緩和ケア」に関する相談 <p>（がん相談支援センター）</p> <p>平日 9：00～17：00 予約制</p> <p>担当者 苅谷 三月（看護師） 日比野 美由紀（看護師）</p>
【女性専門相談】	<ul style="list-style-type: none"> ・女性医療スタッフによる健康相談 <p>平日 予約制</p> <p>担当者 女性医療スタッフ</p>
【セカンドオピニオン】	<ul style="list-style-type: none"> ・診断法や治療法について主治医以外の意見を聞くことに関する相談 <p>平日 予約制</p> <p>担当者 服部 真由美（事務職員）</p>
【要望・苦情等】	<ul style="list-style-type: none"> ・要望・苦情等 <p>平日 9：00～17：00</p>

※安全管理に関するご相談もお受けします。

ご相談
窓口

